

はじめに

認定 NPO 法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ
理事長 赤石千衣子

ひとり親世帯など低所得の世帯では子どもの入学時期にかかる制服代や学用品などの費用を捻出することが困難です。

こうした困難を抱える世帯の子どもたちのために、私たち NPO 法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ（2018 年より認定 NPO 法人）は、2015 年より、新入学の子どもたちにお祝い金を送る事業を行っております。これまでに総計 1500 人を超えるひとり親世帯の子どもたちにお祝い金を送ってきました。ひとつひとつの世帯の親子の暮らしは、本当に厳しく、応募用紙からうかがえるその暮らしの状況に、選考事務にあたる者は胸が詰まる思いをしてきました。そして、このお祝い金があったから、なんとか子どもを入学させることができた、という声を多数いただけてきました。

小さなひとり親家庭支援の NPO として、こうした事業を行うことができたことは、ひとえに寄付者のみなさんのご協力によるものです。これまでにご協力くださった寄付者のみなさまには本当に感謝しております。

また、こうした事業を行うことにより、新入学時期の大変さが理解され、各自治体が、就学援助の入学準備金を前倒し支給するように施策を変えてきました。これもこうした困難を可視化することができたことも貢献してきたのではないかと思います。

2019 年 4 月の新入学のためのお祝い金事業では、794 人の子どもたちにお祝い金を送りました。多くの世帯からは詳細な家計の状況もいただいていることもあり、それを生かす形での調査を行い、その世帯の経済的に困難な状況を明らかにし、また困難を解決するためには何が必要なのかを知るために、2019 年はこの 794 人の子どもたちのいる世帯に例年よりも詳細なアンケート調査を行いました。

ご協力いただいたみなさんに感謝いたします。

教育費、特に新入学時期に困難を抱えるひとり親世帯の状況について、より深く知っていただき、解決に結びつけていきたいと思っております。

2019 年 10 月

目次

はじめに

I 新入学お祝い金事業の概要	5
II 新入学お祝い金 入学後受給者調査の概要	7
III 受給者と受給世帯の概要《応募書類より》	8
1. 進学する学校の種別	
2. 新入学お祝い金に選考された主たる理由（選考基準）	
3. 居住地	
4. お祝い金募集情報の入手方法	
5. 世帯の種別	
6. ひとり親になった理由	
7. 家族構成	
8. 20歳以下の子どもの人数	
9. 受給世帯の年間収入	
10. 養育費について	
11. 就業の状況	
12. 就業している受給世帯の就労収入	
IV 受給世帯への入学後アンケート調査結果	18
1. 入学にかかった費用	
2. お祝い金が役立った項目	
3. 自治体や社会福祉協議会の貸付金について	
4. 児童扶養手当について	
5. 健康について	
6. 暮らしについて	
7. 加入している年金と健康保険	
新入学お祝い金受給者の声	39
受給者へのインタビュー	55
調査結果の分析「新入学お祝い金を受給した世帯の状況と新入学時の困難」	61
「新入学お祝い金 2019」 アンケート用紙	70

I 新入学お祝い金事業の概要

【目的】

日本において、ひとり親家庭の子どもの貧困率は50%を超え、預貯金もわずか（50万円以下が約40%）であり、生活費の滞納をしている世帯も少なくない。ギリギリの生活の中で、子どもの新入学の費用（ランドセル、制服、カバン、靴、高校の教科書代や定期代）を捻出することが非常に困難である。当団体や他団体の取組みによりこの状況が明らかになることによって就学援助の入学準備金についても入学前に支給する自治体が小学校で77.4%、中学校で81.2%に増加してきた（平成30年7月時点/文部科学省「平成30年度就学援助実施状況調査」）が、それでも入学準備の困難を抱えているひとり親家庭は多い。そこで、すべての子どもたちが教育を受けられるよう応援するために、寄付を募り、新入学お祝い金事業を実施する。またその実態を広く報告し、ひとり親家庭の子どもたちが安心して教育を受けられるように制度の改善を求めていく。

【事業内容】

2019年4月に小学校、中学校、高等学校等、大学・専門学校等に入学する子どもたちへ入学お祝い金を支給する。

小学校	3万円
中学校	3万円
高校等	4万円
大学・専門学校等	3万円

【事業実施の期間】

募集期間：2018年12月6日～2019年1月28日

◇2018年11月21日～22日

- ①500人をめどに募集。関東甲信越、東海の自治体のひとり親相談担当及び連携団体に応募要領郵送。ほかに貸付金等手立てがない人に案内してくれるよう依頼。
- ②福島銀行の寄付により、福島県在住者・被災避難者のひとり親枠（30人）を設定。福島県の自治体のひとり親相談担当に応募要領郵送。
- ③ワールド・ビジョン・ジャパンとの共同事業として、広島県豪雨災害被災地（広島市・三原市・竹原市・呉市・坂町）のひとり親枠（30人）を設定。応募用紙はワールド・ビジョン・ジャパンが現地の関係機関を通じて配布。

◇2018年11月30日 NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむのウェブサイト、メルマガで告知
（応募要領ダウンロード、ネットワークプリント）

◇2019年1月28日 締切（郵送必着）

【選考と結果通知】

2019年 1月28日	締切 応募総数 1262人 (1103世帯)
2月25日	選考委員会 794人 (697世帯) の子どもに最終決定
2月26日～27日	選考結果の通知郵送
2月27日～28日	794人の子どもへ送金

【選考基準】

ひとり親家庭に支給される児童扶養手当の全部支給を主たる基準として、以下の項目も考慮しながら、受給世帯の選考を行った。

- ①児童扶養手当全部支給
- ②それ以外の以下の状況にある方
 - ・多子（3人以上）で経済的に困難
 - ・複数の子どもが応募している世帯で経済的に困難
 - ・別居中で経済的に困難
 - ・養育家庭（祖父母が孫を養育など）で経済的に困難
 - ・親 障害、子ども 障害で経済的に困難
 - ・その他 特別な事情

を考慮した。

【選外の世帯への食料・物資支援】

2019年 3月2日	選外 80名へ米 5kg を発送（提供：フードバンク）
3月13日	選外 200名（予定）へ新生活応援セット （提供：ジョンソン・エンド・ジョンソン社会貢献委員会）

※受給・選外問わず、応募者全員に「教育費サポートブック《2018年》」を通知とともに送付。

【選考委員】（敬称略）

小林 雅之	東京大学 大学総合教育研究センター教授
高橋 聖子	コンサルタント(社会的事業・防災)
高山 孝子	国際ソロプチミスト東京一銀座
佐々木 貴代	特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン
なかじま ともみ	CFP(®)・1級FP技能士 NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ 理事
赤石 千衣子	NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ 理事長

【新入学お祝い金 2019 事務局】

村山 純子	NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ 事務局スタッフ
菊池 夏輝	インターン 法政大学学生

II 新入学お祝い金 入学後受給者調査の概要

1 調査の目的

本調査は、新入学お祝い金を受け取られたひとり親家庭がどのようにお祝い金を使ったか、入学時の教育費の準備に困る家庭の実態を明らかにし、よりいっそう暮らしを改善するためには何が必要なのかを知るために実施するものである。調査の結果は、寄付者の方々への新入学お祝い金事業の報告、また入学時の負担軽減や手当の充実などひとり親家庭の生活改善につながる政策提言の資料として活かすとともに、広く教育費を準備することが困難なひとり親世帯の状況を明らかにする。

2 調査対象 2019年3月に「新入学お祝い金」を受給したひとり親家庭等の保護者と子ども794人（697世帯）
うち、調査の趣旨を理解し応募書類データとアンケート回答データの集計について承諾してくださった方

3 調査方法 郵送法
アンケート票に記入したデータに応募時のデータを加えて集計

4 配布・回収

配布数 …………… 794 (697 世帯)
回収数 …………… 527 (469 世帯)
うち、承諾 520 (463 世帯)
回収率 …………… 66.37%
分析対象（承諾）回収率 …………… 65.49%

5 調査期間 2019年5月18日～7月31日（一次締め切り6月3日）

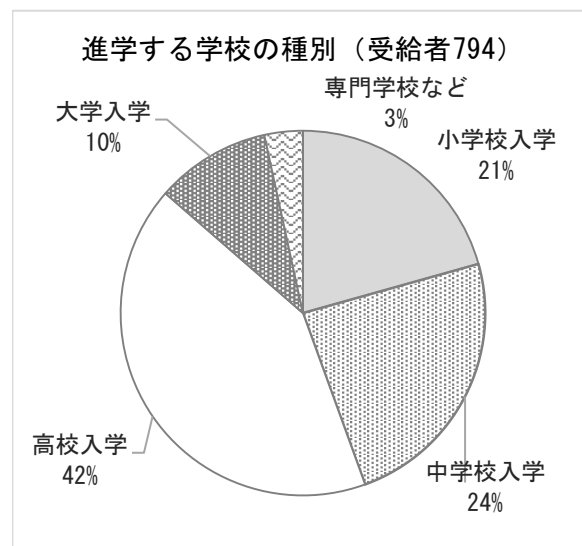
6 新入学お祝い金2019アンケート事業委員会

藤原 千沙 法政大学大原社会問題研究所 教授
赤石 千衣子 NPO 法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ 理事長
村山 純子 NPO 法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ 事務局

Ⅲ 受給者と受給世帯の概要 《応募書類より》

1. 進学する学校の種別（受給者 794）（表 1）

進学する学校	人	%
小学校入学	164	20.7%
中学校入学	189	23.8%
高校入学	333	41.9%
大学入学	81	10.2%
専門学校など	27	3.4%
計	794	100.0%



2. 新入学お祝い金に選考された主たる理由（選考基準）（受給者 794）（表 2）

理由	人
児童扶養手当 全部支給	516
多子（3人以上）で経済的に困難	72
複数の子どもが進学のため経済的に困難	21
別居中で経済的に困難	22
養育家庭（祖父母が孫を養育など）で経済的に困難	2
親の障害で経済的に困難	17
子どもの障害で経済的に困難	6
死別で児童扶養手当全部支給と同等の状況	23
その他 特別な事情を考慮	58
小計	737
広島被災地枠（WVJ）	27
福島県枠（福島銀行）	30
小計	57
合計	794

新入学お祝い金の選考基準は、児童扶養手当の全部支給ラインとしている。理由は、世帯の収入だけでなく子どもの人数やそのほかの条件を考慮し、経済的に困難であるという客観的な基準となりうること、多くの経済的に困難なひとり親家庭は児童扶養手当を受給していることによる。しかし、それ以外の多子世帯であること、複数の子どもが進学し費用がかかること、別居中で児童扶養手当の受給に至っていないひとり親世帯であることなど上記に記載した理由を考慮した。さらに、児童扶養手当は前前年所得（1月～7月）、前年所得（8月～12月）によるものであるため、直近の一年について所得状況に変化があった事情について書いてもらい、考慮した。そうした特別な事情については下記のとおりである。

- ①保護者（ひとり親）の病気による失業、減収
- ②親族同居等による児童扶養手当の停止
- ③子どもの病気障害による減収・失業
- ④失業、転職による減収
- ⑤子どもの祖父母の介護のため減収
- ⑥災害で減収・失業
- ⑦養育費の不払いによる減収
- ⑧資格取得のための通学により減収
- ⑨離婚後まもなく児童扶養手当が未受給

【特別な事情】

- ①保護者（ひとり親）の病気による失業、減収
 - ・がん患者で入院治療のため収入減
 - ・うつ病で休職、復職認められず
 - ・体調不調のため時短、収入減
 - ・骨折し収入が途絶えた
 - ・適応障害・うつ病がある。休職中。また、退職予定
 - ・2018年に全摘手術、放射線治療、抗がん剤治療などを受けた。仕事をしているが欠勤が多く収入減
 - ・親子ともに発達障害を持っている
- ②親族同居等による児童扶養手当の停止
 - ・親族（弟）が同居しているため、児童扶養手当が支給停止
 - ・介護で親と同居していることにより児童扶養手当が支給停止
 - ・同居の父がいるため、所得制限による児童扶養手当が支給停止
- ③子どもの病気障害による減収・失業
 - ・子の障害でパート勤務となり、収入減
 - ・長男、次男に発達障害、子どもが小さいため正社員として働くことが難しい
 - ・両親が難病と手術を控えている。また、子どもも障害と合併症を抱えているため、働き手不足の状態

④失業、転職による減収

- ・ 転職による収入減
- ・ 2019年1月失業。現在求職中で、失業手当無し
- ・ パワハラ退職による収入減
- ・ 2018年に前職を辞めて、現在は日雇い。収入激減。児童扶養手当は所得制限超で受給できない

⑤子どもの祖父母の介護のため減収

- ・ 父、母、祖母の看護・介護で就労できず
- ・ 親の病気・退職による収入減

⑥災害で減収・失業、地震により住居が半壊

- ・ 熊本地震後に勤務先の営業日が減ったため、勤務日数も減り、収入も3万円減った。
- ・ 北海道地震後、収入減
- ・ 台風による被害

⑦養育費の不払いによる減収

- ・ 元夫病気のため、養育費が止まっている

⑧資格取得のための通学により減収

- ・ 介護福祉士学校に通学しているため、収入減。高等職業訓練給付金を受給している

⑨離婚後まもなく児童扶養手当が未受給

- ・ 離婚して児童扶養手当申請中、全部受給と同等の収入（多数）
- ・ 内縁を解消して実家へ。児童扶養手当申請中

⑩その他

- ・ 生活保護の基準額を上回る養育費が離婚した夫からまとめて支払われたため、廃止予定
- ・ 未婚で次男を出産、児童扶養手当額に変更あり
- ・ 障害年金100万円のみで生活
- ・ 子どもが転校したくないという理由で前夫の親の家に住んでいる。同じ敷地内に前夫も住んでいるため、児童扶養手当が受給できない
- ・ 子どもが県外に進学
- ・ 収入源であった祖父が入院中
- ・ 夫が自死でひとり親になったが、遺族年金なし
- ・ 応募者が持病持ち。また、季節によって工場での仕事による収入が不規則になる
- ・ 育休中、2018年の収入無し
- ・ 4月に退職して以来12月まで無職で困窮状態

3. 居住地（受給者 794/応募者 1262）（表 3）

* 応募書類を各区市町村に送付した都県

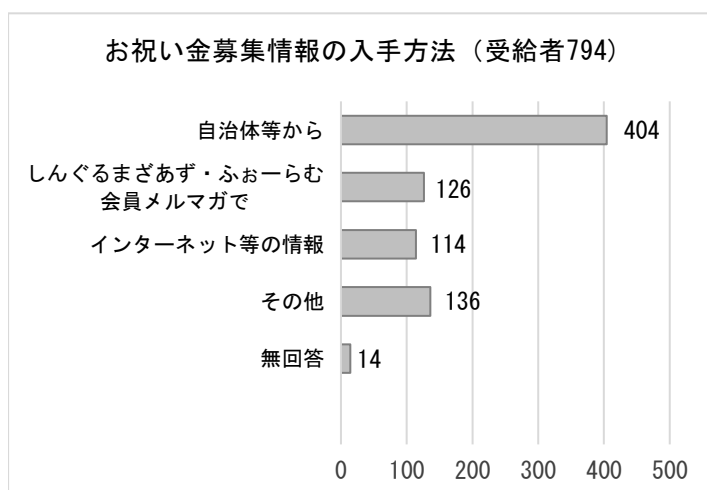
** 配布について特別な事情があった県

	都道府県	受給者（人）	応募者（人）	応募者に対する受給者の割合	
北海道	北海道	22	36	61.1%	
東北	青森県	6	6	100.0%	
	岩手県	3	7	42.9%	
	宮城県	11	20	55.0%	
	秋田県	3	4	75.0%	
	山形県	5	5	100.0%	
	福島県	42	42	100.0%	*
関東	栃木県	43	57	75.4%	*
	群馬県	9	16	56.3%	*
	茨城県	32	39	82.1%	*
	埼玉県	37	50	74.0%	*
	千葉県	33	47	70.2%	*
	東京都	220	363	60.6%	*
	神奈川県	48	68	70.6%	*
甲信越	山梨県	6	8	75.0%	*
	長野県	18	25	72.0%	*
	新潟県	17	23	73.9%	*
北陸	富山県	2	4	50.0%	*
	石川県	3	3	100.0%	*
	福井県	3	8	37.5%	*
東海	静岡県	15	26	57.7%	*
	岐阜県	18	33	54.5%	*
	愛知県	4	6	66.7%	
近畿	京都府	2	9	22.2%	
	奈良県	2	2	100.0%	
	大阪府	11	14	78.6%	
	兵庫県	9	14	64.3%	
	三重県	1	3	33.3%	
	滋賀県	1	1	100.0%	
	和歌山県	0	0	0.0%	
中国	広島県	33	36	91.7%	**
	岡山県	3	5	60.0%	
	鳥取県	0	0	0.0%	
	島根県	0	0	0.0%	

	山口県	1	2	50.0%	
四国	徳島県	0	0	0.0%	
	香川県	4	4	100.0%	
	愛媛県	1	1	100.0%	
	高知県	3	3	100.0%	
九州	福岡県	2	4	50.0%	
	長崎県	0	1	0.0%	
	佐賀県	12	14	85.7%	
	熊本県	4	10	40.0%	
	大分県	2	2	100.0%	
	宮崎県	7	8	87.5%	
	鹿児島県	4	4	100.0%	
沖縄	沖縄県	92	229	40.2%	**
	計	794	1262	62.9%	

4. お祝い金募集情報の入手方法（受給者 794）（表 4）

情報の入手方法	人
自治体等から	404
しんぐるまざあず・ふぉーらむ 会員メルマガで	126
インターネット等の情報	114
その他	136
無回答	14
計	794



受給者が一番多かったのは東京都で 220 人、次いで沖縄県の 92 人だった。応募者も同じく東京都が 363 人、沖縄県は 229 人と非常に多かった。メールマガジンは首都圏の会員が多いためと思われる。

応募要領は関東甲信越と東海地方（愛知県除く）の区市町村(*)相談窓口宛に送付し配布いただいた。福島県については、福島銀行の寄付による特別募集枠のため、応募者数と受給者数が同数となっている。

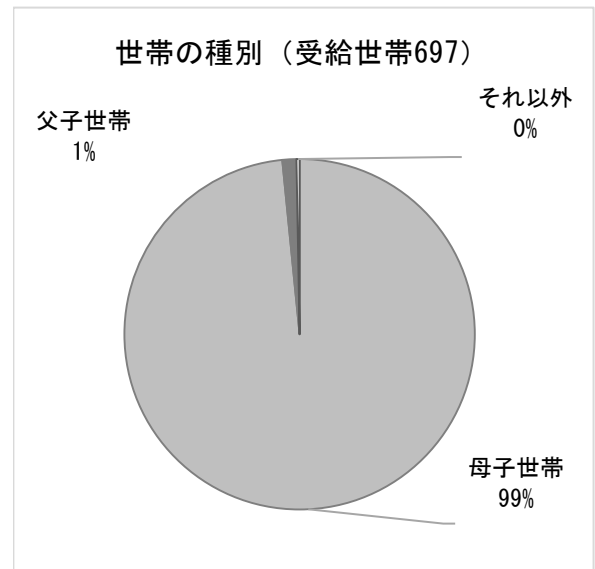
沖縄県(**)で応募者が昨年度に比して 10 倍近く増加した理由は、自治体や地元のひとり親支援団体が会員に応募用紙を送付するなどの組織的な広報と告知があったためと考えられる。

広島県(**)ではワールド・ビジョン・ジャパンにより被災地に限定して告知と募集を行った。情報の入手方法としては「自治体等から」が半数以上を占めた。入学時の費用の捻出に困ったひとり親家庭は、自治体の母子父子自立支援員に相談することが多いので、この相談で借入などの解決ができなかったひとり親家庭にお祝い金の募集情報をご紹介いただき対象としている。

5. 世帯の種別 (表5)

世帯の種別	世帯数	%
母子世帯	686	98.4%
父子世帯	9	1.3%
それ以外	2	0.3%
計	697	100.0%

* 「それ以外」：子の祖父母などが養育している世帯



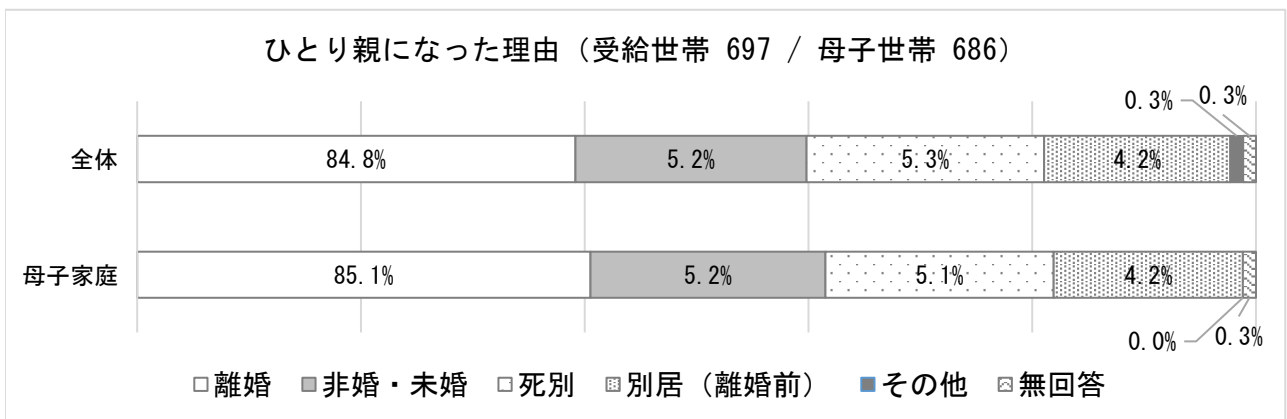
6. ひとり親になった理由 (表6)

受給世帯 (697)

理由	受給世帯	
離婚	591	84.8%
非婚・未婚	36	5.2%
死別	37	5.3%
別居 (離婚前)	29	4.2%
その他	2	0.3%
無回答	2	0.3%
計	697	100.0%

母子世帯 (686)

理由	母子家庭	
離婚	584	85.1%
非婚・未婚	36	5.2%
死別	35	5.1%
別居 (離婚前)	29	4.2%
その他	0	0.0%
無回答	2	0.3%
計	686	100.0%

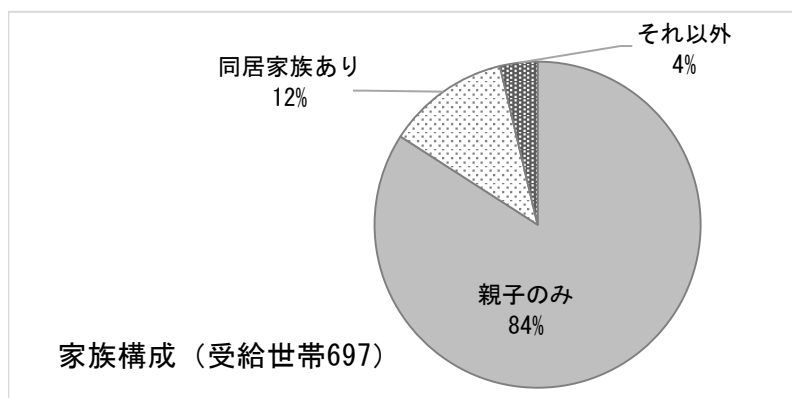


受給世帯の家族構成は母子世帯が98.4%を占め、父子世帯は1.3%にとどまった。

ひとり親になった理由は、受給世帯全体で離婚が84.8%、次いで死別が5.3%、非婚・未婚5.2%と続く。離婚前の別居状態の世帯もお祝い金の応募対象としているので、4.2%となった。平成28年度全国ひとり親世帯等調査(以下、全国調査と表記)においては、離婚79.5%、死別8.0%、非婚・未婚8.7%である。

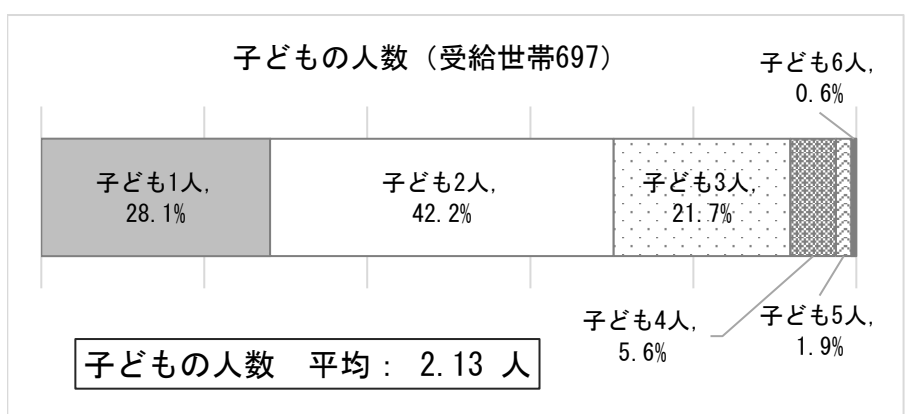
7. 家族構成（受給世帯 697）（表 7）

同居家族	世帯	%	家族構成	世帯	%
親子のみ	586	84.2%	ひとり親、0～17歳の子	438	62.8%
			ひとり親、18歳以上の子	22	3.2%
			ひとり親、0～17歳の子、18歳以上の子	126	18.1%
同居家族あり	85	12.1%	ひとり親、0～17歳の子、子の祖父母	70	10.0%
			ひとり親、18歳以上の子、子の祖父母	3	0.4%
			ひとり親、0～17歳の子、18歳以上の子、子の祖父母	12	1.7%
それ以外	26	3.7%	それ以外	26	3.7%
計	697	100.0%	計	697	100.0%



8. 20歳以下の子どもの人数（受給世帯 697）（表 8）

子どもの人数	世帯数	%
1人	196	28.1%
2人	294	42.2%
3人	151	21.7%
4人	39	5.6%
5人	13	1.9%
6人	4	0.6%
計	697	100.0%



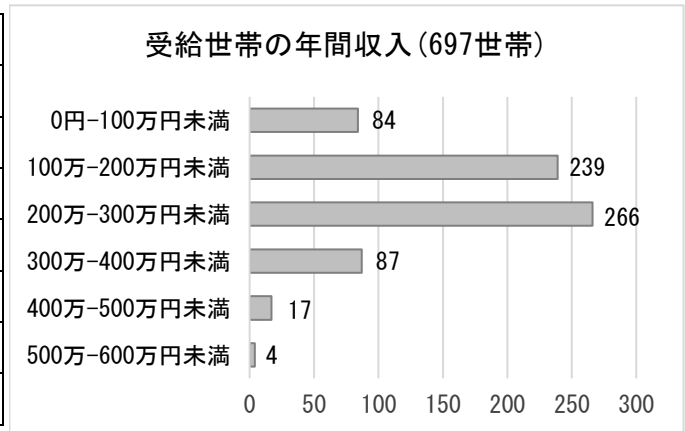
受給世帯の家族構成は親子のみが84%、同居家族ありが12%となり、全国ひとり親世帯等調査における、母子世帯の同居親族がいる割合（38.7%）よりも低く、同居親族がない世帯のほうが教育費に悩んでいる可能性がある。「それ以外」4%には母の兄弟等との同居しているケース、また子の祖母あるいは祖父が養育しているケースが含まれる。

子どもの人数は2人が最も多く42.2%、平均は2.13人となった。次いで1人が28.1%であるが、3人以上の世帯は29.8%であり、1人の世帯を上回った。3人以上の多子世帯については、子どもの数に対する収入を考慮して選考を行った。

9. 受給世帯の年間収入*（受給世帯 697）（表 9）

平均値(円)	中央値(円)
2,122,367	2,110,832

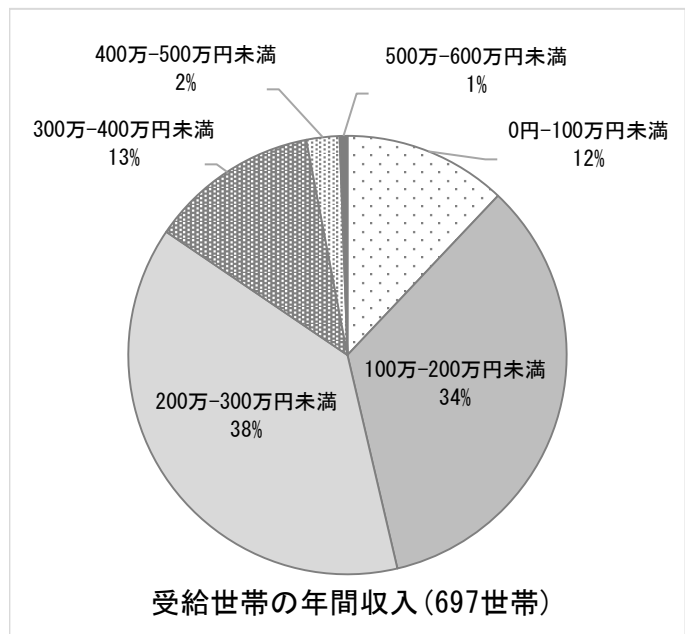
収入額	世帯	%	累積%
0円-100万円未満	84	12.1%	12.1%
100万-200万円未満	239	34.3%	46.4%
200万-300万円未満	266	38.2%	84.6%
300万-400万円未満	87	12.5%	97.1%
400万-500万円未満	17	2.4%	99.5%
500万-600万円未満	4	0.6%	100.0%
計	697	100.0%	



*年間収入＝給与収入・年金・手当等の合計

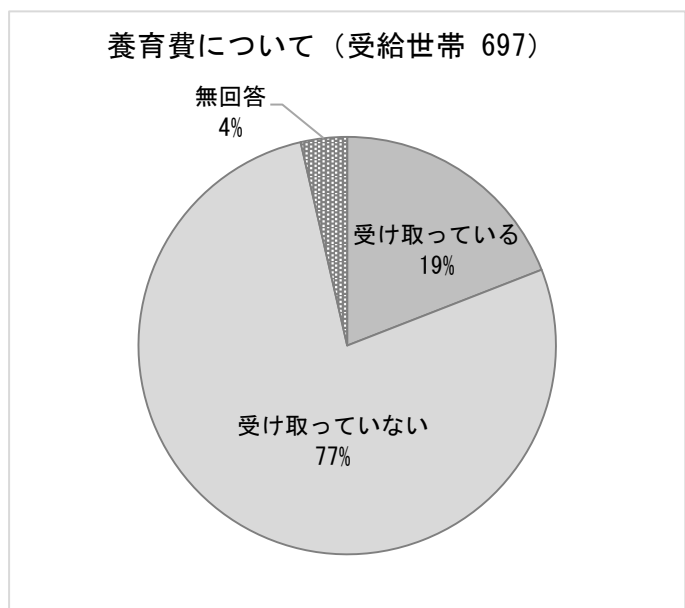
受給世帯の年間収入の平均額は 212 万円、中央値は 211 万円である。200 万～300 万円未満が最も多く 38.2%、100 万～200 万円が 34.3%で、300 万円未満で暮らす受給世帯は 84.6%に上る。

全国ひとり親世帯等調査では母子世帯の母の年間収入の平均額は 243 万円であり、それと比べるとお祝い金の受給世帯の年間収入は低く、経済的にかなり困難な状況にあることがわかる。



10. 養育費について（受給世帯 697）（表 10）

養育費	世帯	%
受け取っている	133	19.1%
受け取っていない	539	77.3%
無回答	25	3.6%
計	697	100.0%

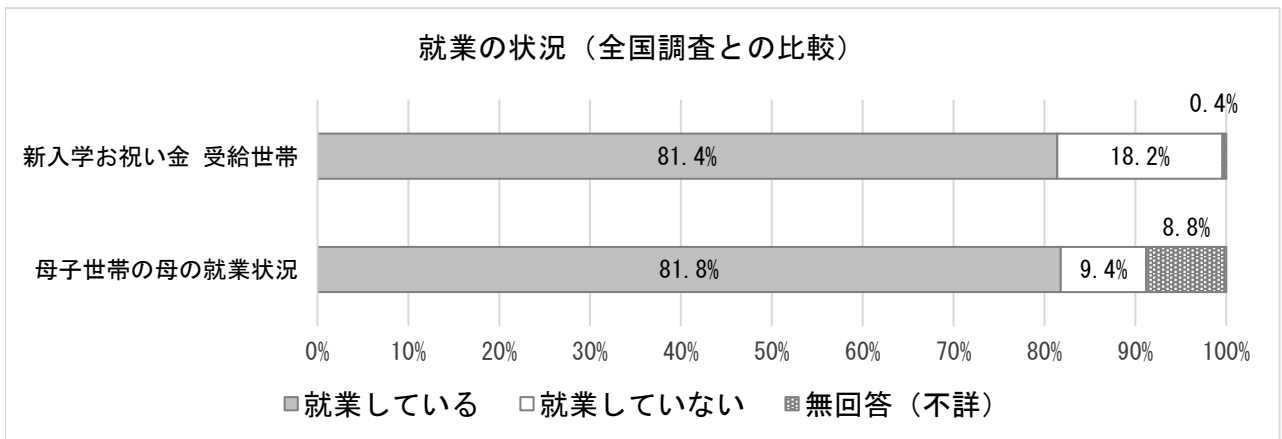


受給世帯で養育費を受け取っている世帯は全体の 19.1%であった。全国調査の割合（「現在も養育費を受け取っている」24.3%）より下回っている。

11. 就業の状況（受給世帯 697）（表 11-①）

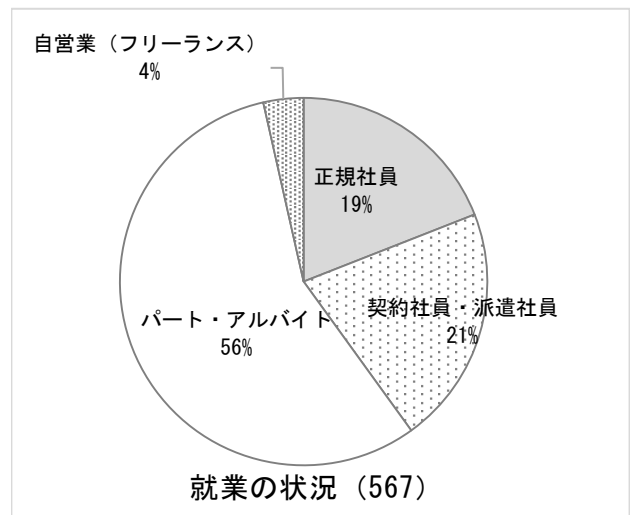
① 就業と不就業 *平成 28 年度 全国ひとり親世帯等調査より

就業の状況	新入学お祝い金 受給世帯		* 母子世帯の母の就業状況
就業している	567	81.4%	81.8%
就業していない	127	18.2%	9.4%
無回答（不詳）	3	0.4%	8.8%
計	697	100.0%	100.0%



② 就業している受給世帯の就業の状況（567）（表 11-②）

就業の状況	受給世帯	
正規社員	108	19.0%
契約社員・派遣社員	119	21.0%
パート・アルバイト	320	56.4%
自営業（フリーランス）	20	3.5%
計	567	100.0%



【参考】 母子世帯の母の就業状況

* 平成 28 年度全国ひとり親世帯等調査より

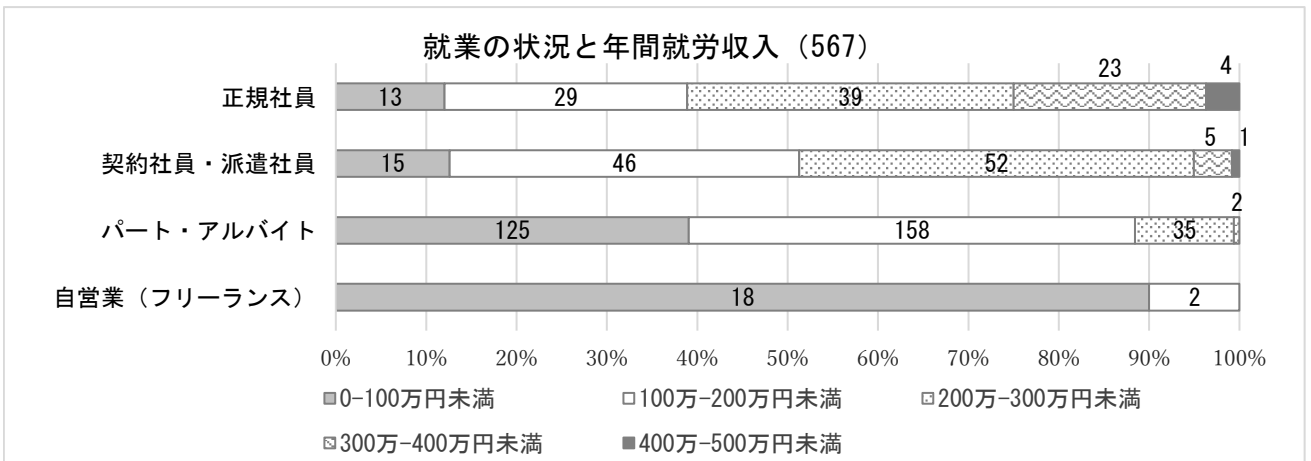
正規の職員・従業員	派遣社員	パート・アルバイト等	会社などの役員	自営業	家族従業者	その他	計
44.2%	4.6%	43.8%	0.9%	3.4%	0.5%	2.5%	100.0%

新入学祝い金の受給世帯の81.4%は就業している。全国調査では母子世帯の81.8%が就業しており、ほぼ変わらない。しかし、内訳をみると全国調査では就業者のうちパート・アルバイトは43.8%である。お祝い金受給世帯では就業者のうち56.4%がパート・アルバイトであり、より非正規で働く者が多く、正社員比は全国調査が44.2%であるのに対し新入学祝い金受給世帯では19.0%と低くなっている。

12. 就業している受給世帯の就労収入（表12）

平均値（円）	中央値（円）
1,536,941	1,495,600

就業の状況	総数	0-100万円未満	100-200万円未満	200-300万円未満	300-400万円未満	400-500万円未満	平均年間就労収入(円)
総数	567	171	235	126	30	5	1,536,941
	100.0%	30.2%	41.4%	22.2%	5.3%	0.9%	
正規社員	108	13	29	39	23	4	2,246,065
	100.0%	12.0%	26.9%	36.1%	21.3%	3.7%	
契約社員・派遣社員	119	15	46	52	5	1	1,864,454
	100.0%	12.6%	38.7%	43.7%	4.2%	0.8%	
パート・アルバイト	320	125	158	35	2	0	1,241,372
	100.0%	39.1%	49.4%	10.9%	0.6%	0.0%	
自営業（フリーランス）	20	18	2	0	0	0	488,072
	100.0%	90.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	



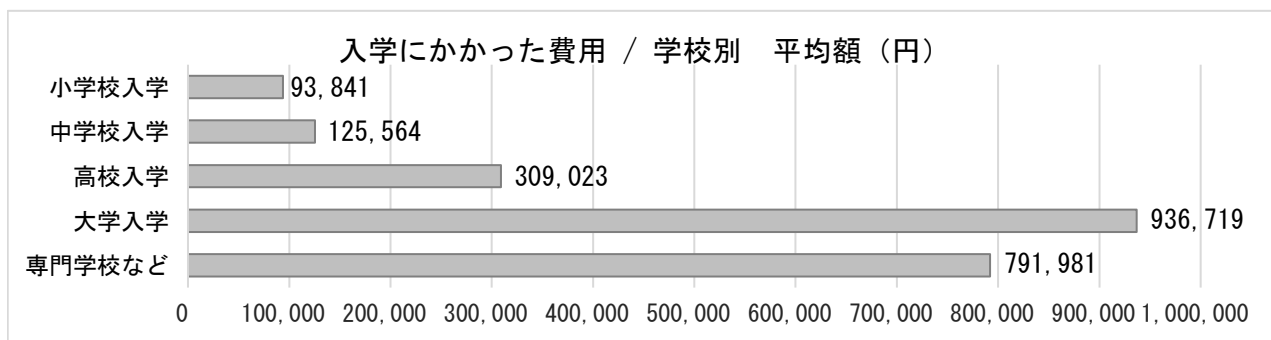
就業している受給世帯の年間就労収入の平均額は、正規社員で225万円、最も人数が多いパート・アルバイトで124万円である。全国調査の正規社員305万円、パート・アルバイト133万円をどちらも下回っている。パート・アルバイトの年間就労収入は100万円～200万円未満が49.4%、0円～100万円未満が39.1%を占める。正規社員、契約社員・派遣社員ともに最も多いのは200万円～300万円未満で、それぞれ36.1%、43.7%を占める。自営業（フリーランス）は受給世帯全体の2.9%であるが、年間就労収入の平均額は149万円、全世帯が200万円未満、9割が100万円未満の就労収入である。

IV 受給世帯への入学後アンケート調査結果

1. 入学にかかった費用

① 進学した学校別 平均額（円）（表1-①）

項目	小学校	中学校	高校入学	大学	専門学校等
平均（円）	93,841	125,564	309,023	936,719	791,981



② 入学にかかった費用 項目ごとの回答率（表1-②）

	小学校	回答率	中学校	回答率	高校	回答率	大学	回答率	専門学校	回答率
学校納付金（入学・授業料）	21	18.8%	21	18.4%	179	84.8%	45	86.5%	10	66.7%
学校指定の学用品 （教材・文具・実習服等）	86	76.8%	63	55.3%	164	77.7%	32	61.5%	7	46.7%
学校用の衣類や靴 （制服・体操着・上履き等）	102	91.1%	108	94.7%	189	89.6%	8	15.4%	4	26.7%
学校の部活費用 （部活道具・保険等）	8	7.1%	60	52.6%	78	37.0%	8	15.4%	0	0.0%
通学用かばん・ランドセル	94	83.9%	77	67.5%	99	46.9%	10	19.2%	0	0.0%
通学用自転車	1	0.9%	26	22.8%	45	21.3%	6	11.5%	1	6.7%
通学交通費（定期代）	3	2.7%	10	8.8%	112	53.1%	22	42.3%	5	33.3%
自宅用の学用品 （勉強机・文具等）	59	52.7%	35	30.7%	61	28.9%	15	28.8%	1	6.7%
式服（入学式のスーツ・靴等）	54	48.2%	34	29.8%	44	20.9%	33	63.5%	8	53.3%
入学までの受験費用 （受験料・受験交通費等）	3	2.7%	3	2.6%	118	55.9%	39	75.0%	5	33.3%
入学のための引っ越し （寮・アパートへの転居費用）	5	4.5%	3	2.6%	5	2.4%	18	34.6%	2	13.3%
全体	112	100.0%	114	100.0%	211	100.0%	52	100.0%	15	100.0%

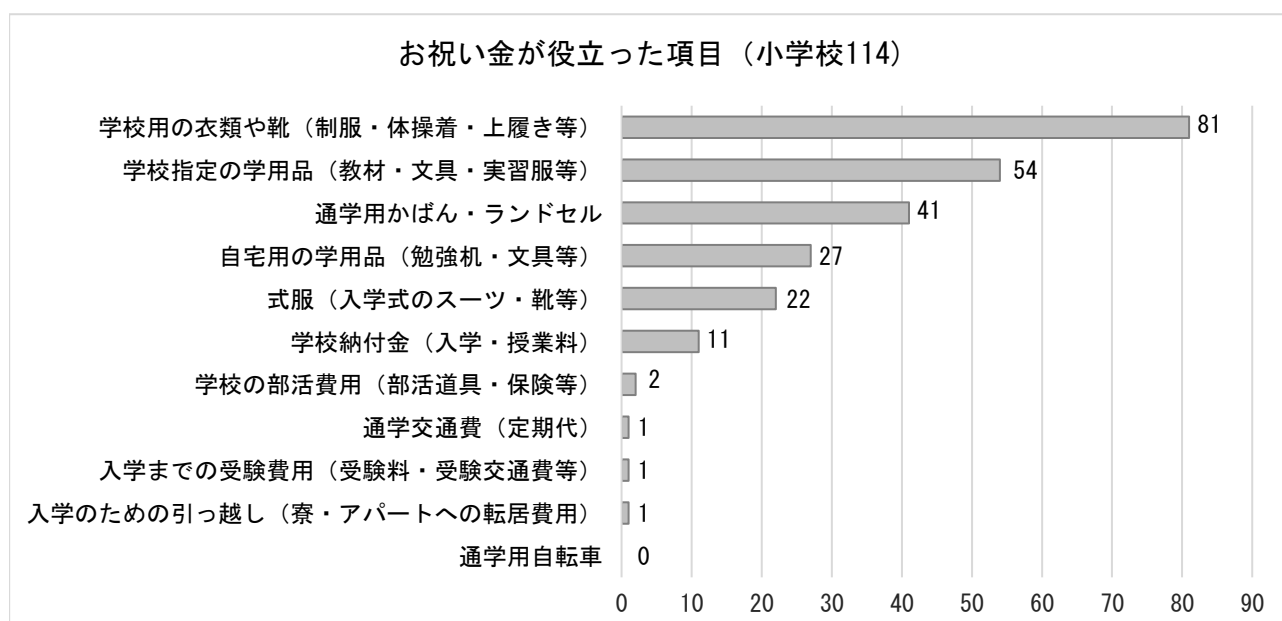
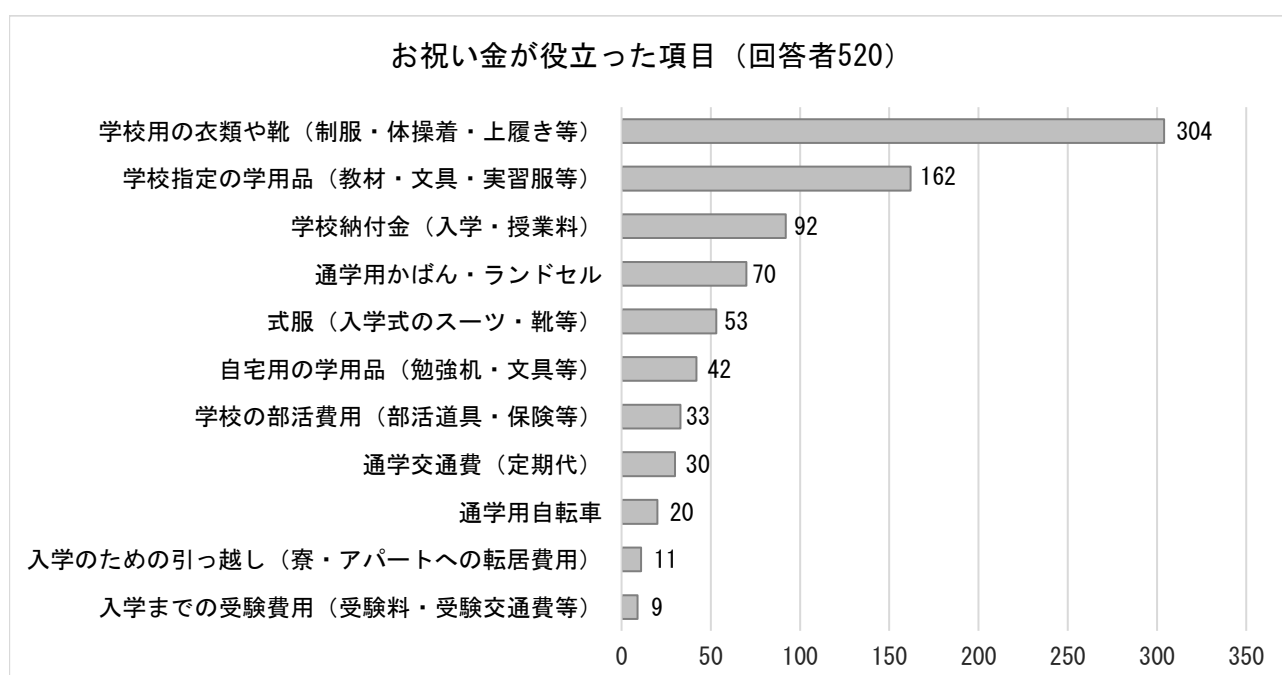
入学にかかった費用の平均は小学校が 93,841 円、中学校 125,564 円、高校が 309,023 円である。

項目別にみると、回答が多かったのは「学校用の衣類や靴」で小学校 91.1%、中学校 94.7%、次いで「通学用かばん・ランドセル」で小学校 83.9%、中学校 67.5%となっており、体操服や靴・制服などの負担が大きいことがわかる。

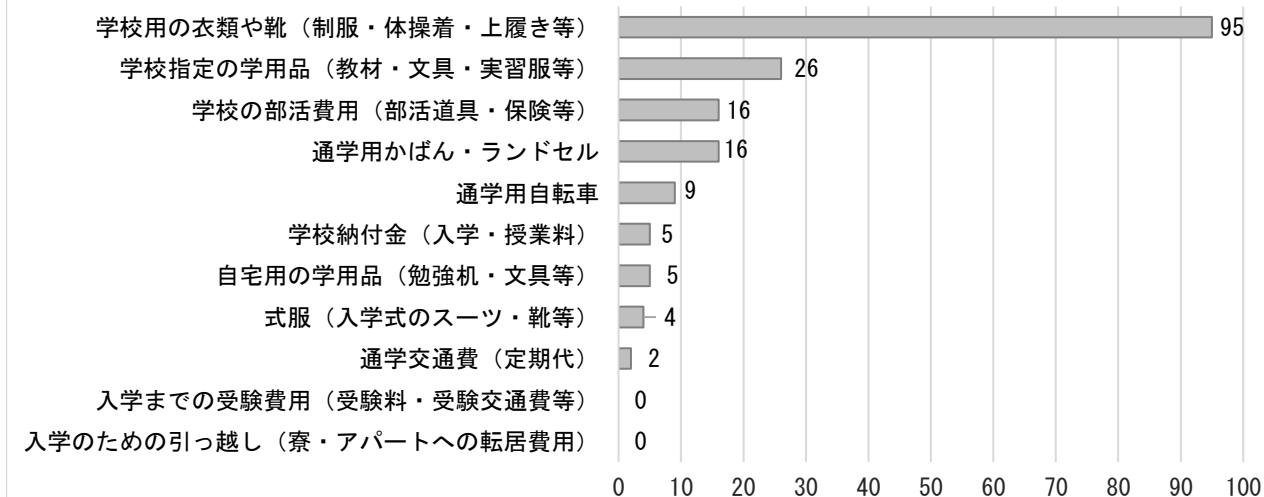
高校でも「学校用の衣類や靴」（89.6%）が最も多く、次いで「学納金」（84.8%）が多かった。

大学、専門学校等とともに「学納金」がトップだが、大学では次いで「受験費用」（75.0%）であった。

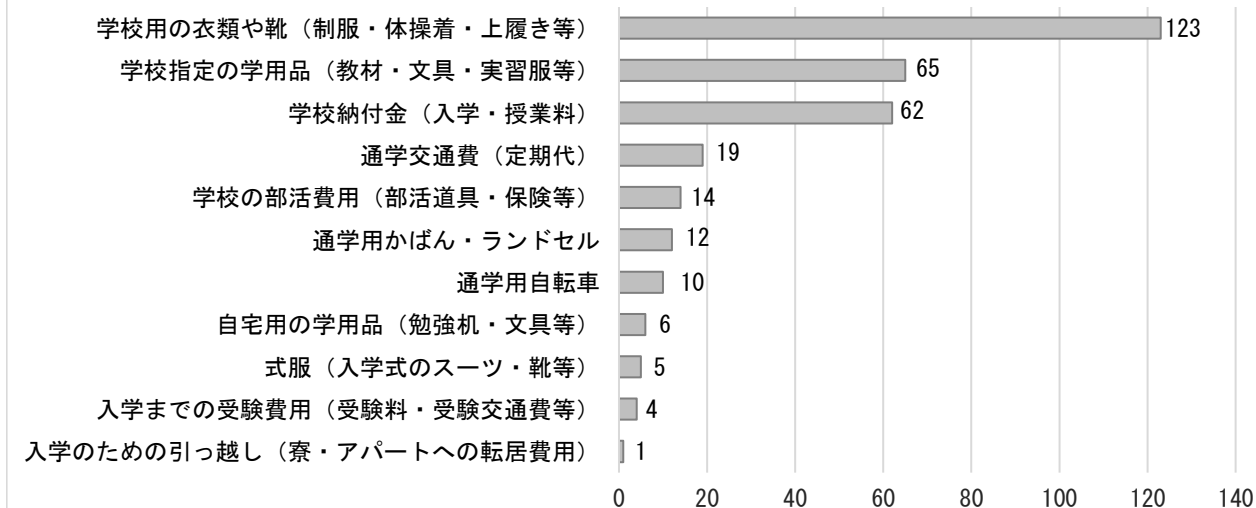
2. お祝い金が役立った項目（回答者 520 3つまで選択）（表 2）



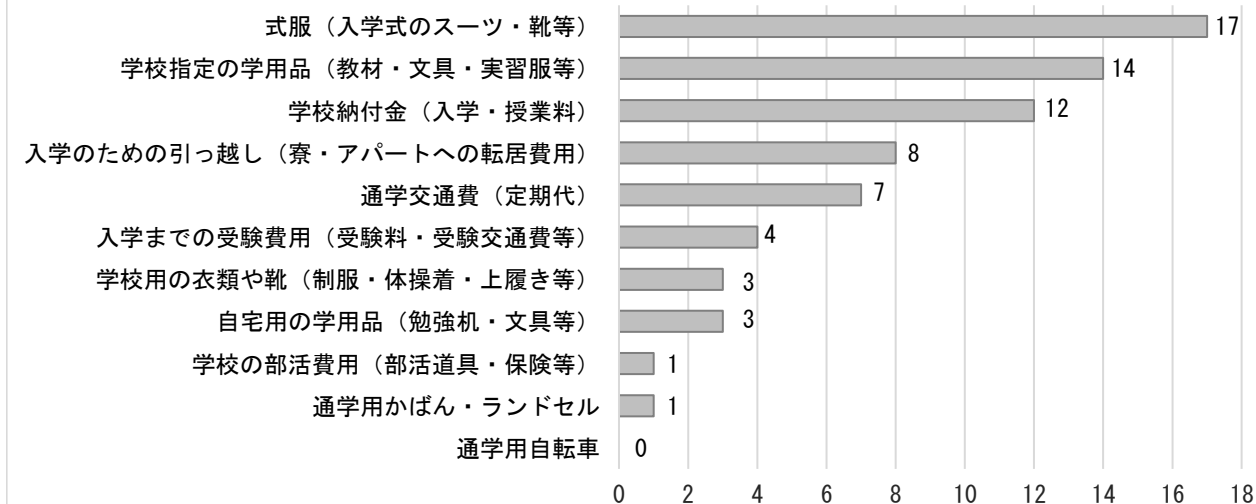
お祝い金が役立つ項目（中学校118）



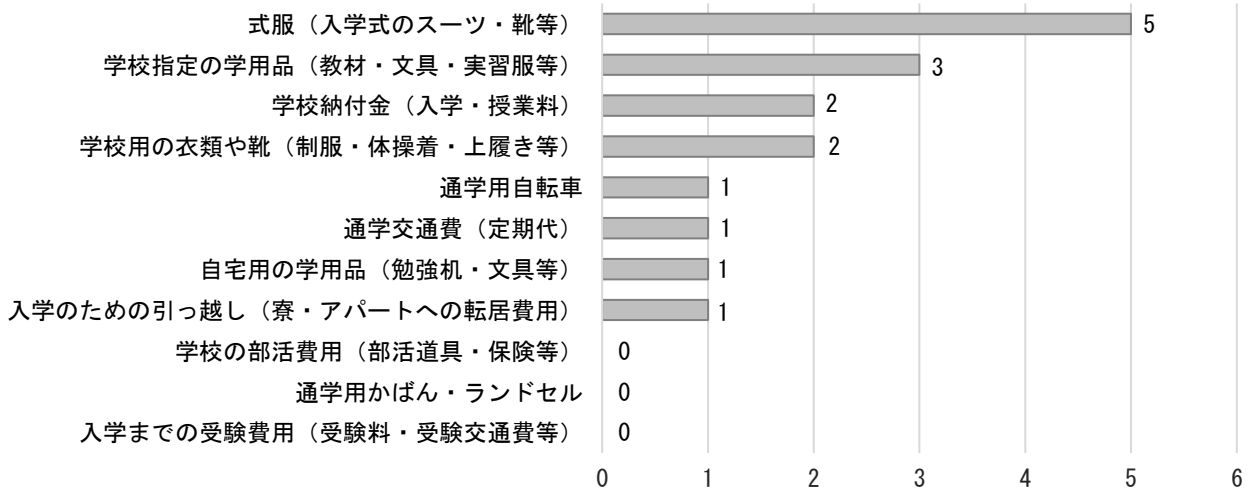
お祝い金が役立つ項目（高校211）



お祝い金が役立つ項目（大学52）



お祝い金が役立った項目（専門学校等15）



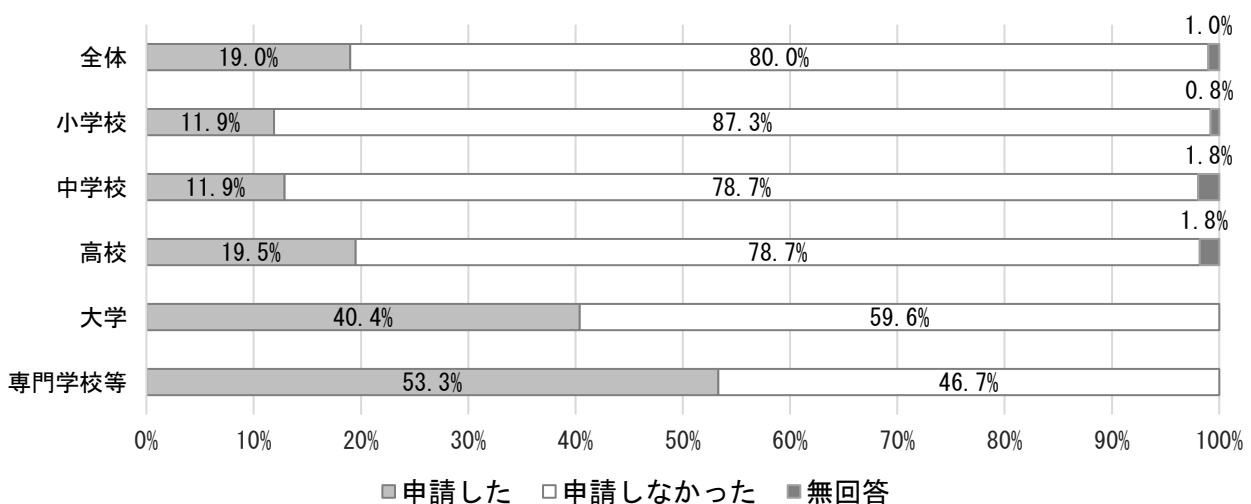
お祝い金 3 万円（高校入学は 4 万円）が役立った項目は制服などの「学校用の衣類や靴」が小学校 81、中学校 95、高校 123 と最も多く、次に小中高ともに「学校指定の学用品」であった。小学生はそれらに次いで、「通学用かばん・ランドセル」購入に役立ったという回答が 41 であった。

3. 自治体や社会福祉協議会の貸付金について

① 自治体や社会福祉協議会の貸付金を申請したか（回答者 520）（表 3-①）

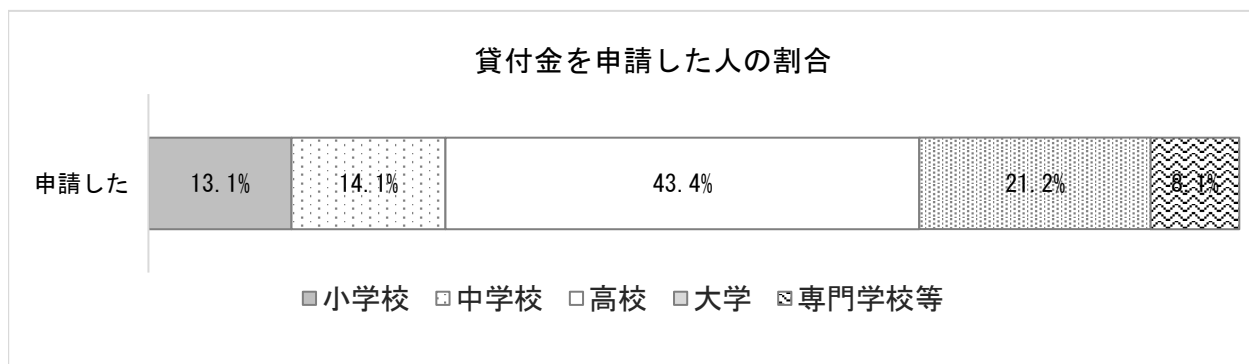
	全体	小学校	中学校	高校	大学	専門学校等
申請した	99	13	14	43	21	8
申請しなかった	416	101	103	174	31	7
無回答	5	0	1	4	0	0
計	520	114	118	221	52	15

貸付金を申請したか



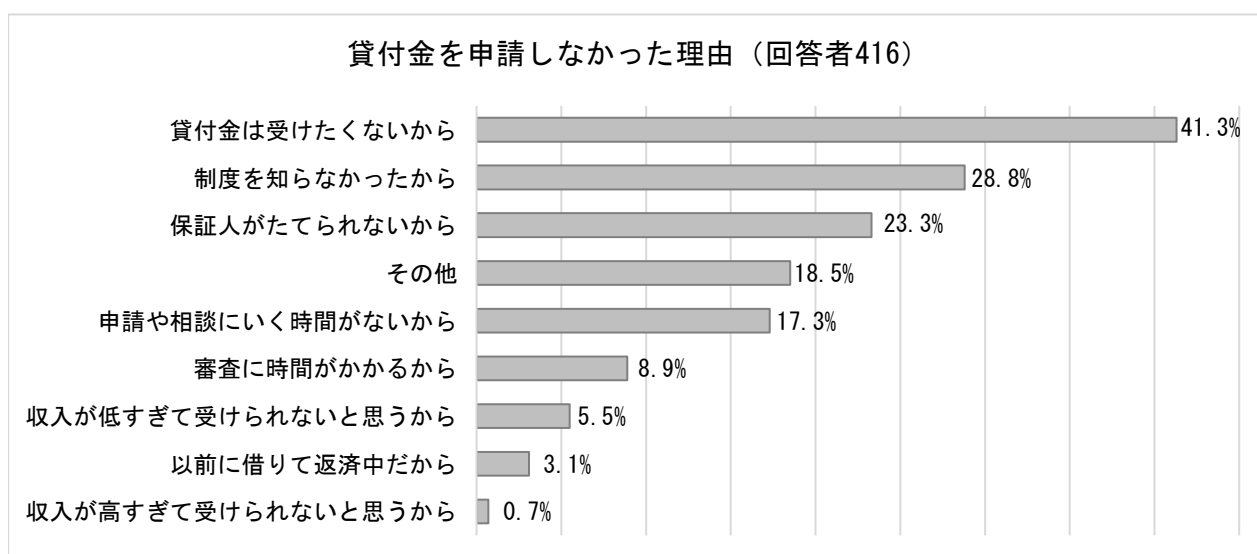
② 貸付金を申請した人の割合（表3-②）

	小学校	中学校	高校	大学	専門学校等	全体
申請した	13	14	43	21	8	99
	13.1%	14.1%	43.4%	21.2%	8.1%	100.0%



③ 貸付金を申請しなかった理由（回答者416 複数回答）（表3-③）

	回答数		%
制度を知らなかったから	2位	120	28.8%
申請や相談に行く時間がないから	5位	72	17.3%
審査に時間がかかるから		37	8.9%
保証人がたてられないから	3位	97	23.3%
収入が高すぎて受けられないと思うから		3	0.7%
収入が低すぎて受けられないと思うから		23	5.5%
以前に借りて返済中だから		13	3.1%
貸付金は受けたくないから	1位	172	41.3%
その他	4位	77	18.5%



新入学にあたり、経済的に困難な世帯には社会福祉協議会などからの貸付金事業を利用することが考えられるので、貸付金を利用したかどうかを聞いた。貸付金を申請しなかった人は回答者 520 人のうち 416 人、80.0%に上った。申請しなかった理由で最も多かったのは「貸付金は受けたくなかったから」(172)。次いで、「制度を知らなかったから」(120)、「保証人が立てられなかったから」(97)「申請や相談に行く時間がないから」(72)と続く。

「その他」についての記述は以下のとおり。

その他（記述）

【小学校入学】

- ・ 小学校のためそこまで必要なかったから
- ・ 借りても返済できないので
- ・ 市の就学援助もあり申請したから
- ・ 国立小だから
- ・ 相談はしたが、利用は難しいと言われた。返済能力（収入が少ない）から？
- ・ 「収入のない人には貸せない」と言われた
- ・ 夫が合意せず離婚が成立しておらず（実質的に母子家庭だが）他の母子家庭むけの支援を行政からすでに何一つ受けられないと区役所で説明を受けているため、あきらめた
- ・ 別居中の戸籍上の夫は高所得であるため（小児医療証もない）DV で住民票が異動できず同一世帯扱いすると役所で説明を受けたので。無職だから。夫から親権を渡せと言われており、私に経済的に余裕がないとそれを理由に責めてくるため
- ・ 看護学生で会社も辞めてしまったので返すのが大変
- ・ 入学時に転居したため、その時期の申請に該当できなかった
- ・ できるだけ借金をしたくない気持ちと、自分で頑張っって子どもに買ってあげたい気持ちがあり、借りるのは最終手段だと考えている

【中学校入学】

- ・ まだ中学なのでそんなにお金がかからなかったの
- ・ 兄の大学進学に使用するため
- ・ 審査に通らないと思うから
- ・ 安定した職に就いてなかったから
- ・ この先、高校または大学の時に申請すると思うので、今回はしなかった
- ・ 公立の中学なので、どうにかまかかった
- ・ 制度はあると知っていたが、内容を知らなかった
- ・ 借りて返せる見込みがないから
- ・ ローンがあるから
- ・ 日本国籍ではないから

【高校入学】

- ・ 卒業してから半年後から 2 万円くらいの返済は大学進学を考えているので難しいと思ったから
- ・ 今までにいただいた児童扶養手当でまかなえたから
- ・ 入学前にお金がかかるのに間に合わない
- ・ 保証人が頼める人がいなかった。自分で何とかしてくださいと言われた
- ・ ずっと古い車に乗っていて、車の資金を借りたく〇〇福祉センターへ電話をしたが、生活状況も聞かれすぐに断られた。無利子の車の貸付の項目があるのに、今まで利用された方がいるかしくよく聞いたら誰も使ったことがないと言っていた
- ・ 表向きは利用できるとなっているが、借りられる条件を聞いたら実際は利用できないものが多くがっかりした
- ・ 育英会、奨学金が受けられない人しか申請できないとのことで断られた
- ・ 離婚調停中のため、申請できないため
- ・ 上の子で貸付をうけているため
- ・ 民間業者での借入金を返済中なので、審査に通らないと言われた
- ・ ローンがあるから
- ・ 借りても返せるあてがない、ある中でやるしかない
- ・ 安定した職に就いていなかったから
- ・ 協議会や子育て支援課の職員にバカにされた

- ・市の担当者の方に話を聞きに行ったが、現状を伝えても無駄だと判断したから
- ・収入・支出内訳を細かく開示することに抵抗があった
- ・修学資金を借りたかったが、学生本人と保証人との面談必要とのことで申請しなかった
- ・利息を払うのが大変なため
- ・成績が3以上なかったため
- ・生活保護受給中のため
- ・貸付受けると、返済時さらに生活が苦しくなると思ったので
- ・母が外に出られず自分では分からなかったため
- ・日本国籍でないため
- ・自身が貸付担当者であるため

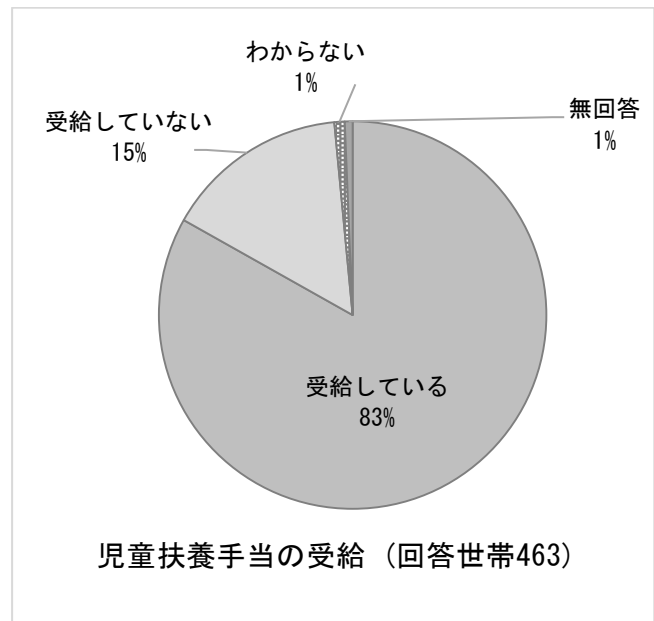
【大学入学/専門学校そのほか入学】

- ・学校納入金以外には使えないと言われたから（納入金は奨学金を充当済み）
- ・3年前から保護者が貸付を受けているため申請できない
- ・以前に借りて返済はまだだから
- ・奨学金を申し込んでいたから
- ・村なので個人情報を見た人が話して、もれるため
- ・学資保険でためた分では足りず、国の教育ローンを借りた
- ・M市は保証人が2名いないと貸してもらえない上、仕事を辞めたので絶対に借りられないとわかっているため申請しなかった
- ・離婚裁判の費用の返済に数年かかるので、貸付は極力避けたい
- ・3ヶ月間の家計のわかるもの（1円単位でと言われた）が必要といわれ対応する時間がないと思いい、やめた。提出しても通るかもわからないと言われた

4. 児童扶養手当について

① 児童扶養手当の受給（回答世帯463）（表4-①）

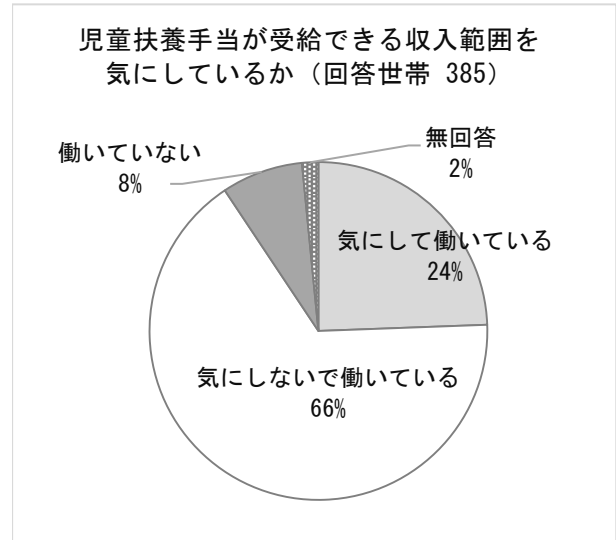
	世帯	%
受給している	385	83.2%
受給していない	71	15.3%
わからない	4	0.9%
無回答	3	0.6%
計	463	100.0%



児童扶養手当は回答世帯463のうち、83.2%が受給しており、15.3%が受給していない。受給していない71世帯うち、世帯としては離婚世帯が33と最も多いが、8.5%である。非受給率が高いのは別居（離婚前）と死別との世帯で、それぞれ84.2%と72.4%である。死別の場合は遺族年金を受給しているために児童扶養手当は併給ができないので受給していないためだろう。別居中の世帯は、実質ひとり親世帯であるが、制度上受給資格がないためと考えられる。非婚・未婚は21全世帯が受給している。

② 児童扶養手当が受給できる収入範囲を気にしているか（回答世帯 385）（表 4-②）

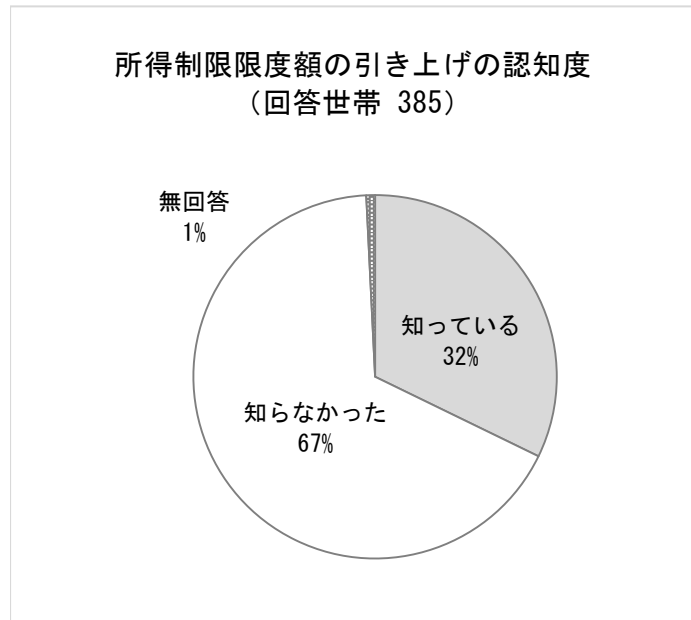
児童扶養手当が受給できる収入範囲	世帯	%
気にして働いている	94	24.4%
気にしないで働いている	255	66.2%
働いていない	30	7.8%
無回答	6	1.6%
計	385	100%



児童扶養手当を受給している 385 人のうち、受給できる収入範囲を気にして働いている人は 24.4%、気にしないで働いている人は 66.2%であった。

③ 全部支給が受けられる所得制限の限度額引き上げについて（回答世帯 385）（表 4-③）

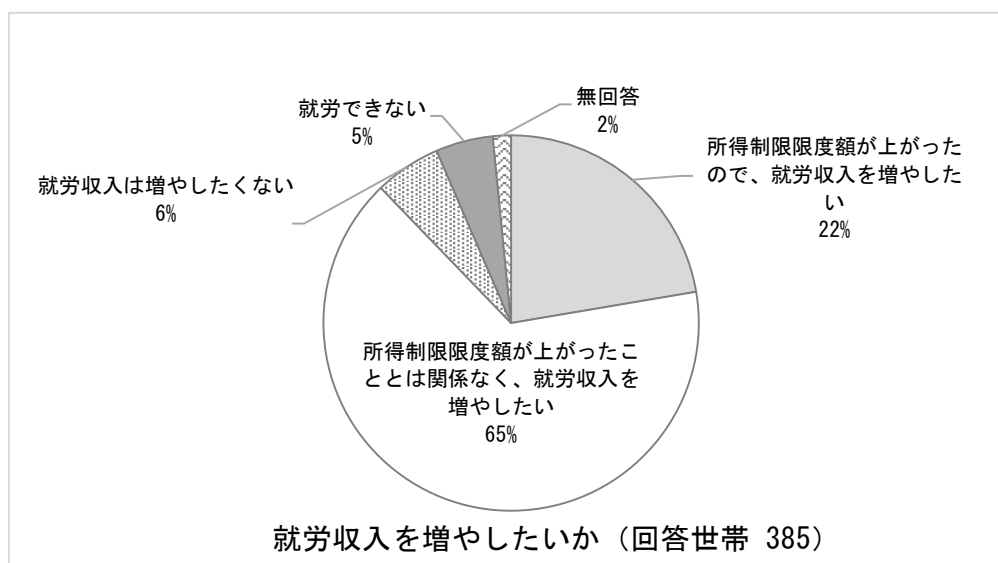
	世帯	%
知っている	124	32.2%
知らなかった	258	67.0%
無回答	3	0.8%
計	385	100.0%



平成 30 年 8 月から児童扶養手当の全部支給が受けられる所得制限の限度額が年収ベースで 130 万円から 160 万円に引き上げられたことを「知らなかった」は 67.0%で、「知っている人」32.2%を大きく上回った。

④ 所得制限限度額が上がったことで就労収入を増やしたいか（回答世帯 385）（表 4-④）

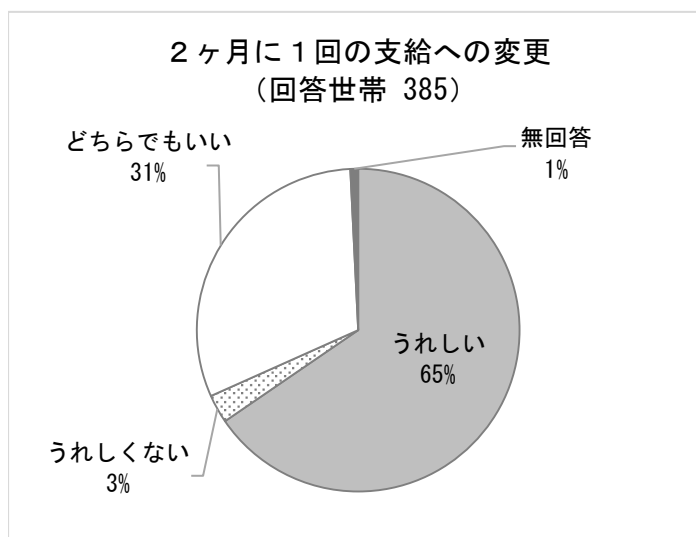
	世帯	%
所得制限限度額が上がったので、就労収入を増やしたい	86	22.3%
所得制限限度額が上がったこととは関係なく、就労収入を増やしたい	252	65.5%
就労収入を増やしたくない	22	5.7%
就労できない	19	4.9%
無回答	6	1.6%
計	385	100.0%



児童扶養手当の全部支給が受けられる所得制限限度額が引き上げられたことにより就労収入を増やしたいと希望する人は 22.3%、引き上げとは関係なく就労収入を増やしたい人は 65.5%に上った。就労収入を増やしたくない人は 5.7%であった。

⑤ 2ヶ月に1回の支給への変更（回答世帯 385）（表 4-⑤）

	世帯	%
うれしい	252	65.5%
うれしくない	11	2.9%
どちらでもいい	119	30.9%
無回答	3	0.8%
計	385	100.0%



2019年11月より、児童扶養手当の支給回数は2月に1回となる。支給が2カ月に1回になることについて「うれしい」と答えた人が65.5%であり、「どちらでもいい」30.9%、「うれしくない」2.9%で、多くが歓迎していた。それぞれの回答の主な理由と詳細は以下のとおりである。

《うれしい》

- 家計の管理がやりやすくなる
- 生活がらくになる
- 4か月目の生活が厳しかったから
- 給食費や電気・ガス・通信費などの支払いは毎月だから
- 赤字が早く補える
- 毎月支給だとなおいい

《うれしくない》

- まとまって入ったほうが管理しやすい
- 2か月に1回だと使ってしまうから
- もっと前に2か月に1回にしてほしかった

《どちらでもない》

- 4か月に1回の支給になれている
- 今までもきちんと管理しているから
- 貯めているから関係ない

《うれしい》

- 家計の管理がやりやすくなる
 - ・ 2ヶ月の支給だと生活設計も計画しやすい
 - ・ 1ヶ月の生活が計算しやすい
 - ・ 2ヶ月に1度の方が、収支を計算しやすいから
 - ・ 年間を通しての計画が立てやすくなったと感じるから
 - ・ 手当を使う時に、2ヶ月に1度の方が計画を立てて使いやすい
 - ・ 一気にもらうと一気に使いやすいため
 - ・ まとめてもらうともらわない月のお金の使いかたが難しくなるから
 - ・ 計画性がないため出来るだけこまめに支給していただける方が計画を立てやすい
- 生活がらくになる
 - ・ 月々の食費・生活費として使いやすくなるから
 - ・ 生活費や教育費に充てやすい
 - ・ 収入だけでは生活できないため、月々の生活費にあてているので、支給間隔が短いのは助かる
 - ・ 生活がギリギリなのでまとめてよりも短期間で支給してもらえると月々のやりくりがしやすい
 - ・ 生活に少し余裕が生まれる
 - ・ 児童手当が偶数月のため奇数月には手当がなく生活が苦しかったから
 - ・ 学校や日常生活に必要なものは、その都度購入するので支給頻度が短期間の方がよい
 - ・ 子どもが中学生になると学費や部活でのお金がかかるので助かる
 - ・ 収入がコンスタントにあると、経済的なことの安定感につながる
- 4か月目の生活が厳しかったから
 - ・ 4ヶ月だとまとめて払う金額が多く、あつという間になくなってしまふのが現実。少なくちょこちょこ支給されると乗り越えられるかなと思う
 - ・ 毎月の生活費として使えるので。4ヶ月直前は家計が厳しくなっている
 - ・ 3人も子どもがいるのでいろいろと出費があり、4ヶ月までは長い

- ・支給月が4, 8, 12月だと、出費の多い行事ごとに間に合わなかった
 - ・いつも長い期間待たされているので本当はもっと前からそうしてほしかった
 - ・お金の残金が月末に少ないと不安になるので2ヶ月毎に支給された方が精神的に安心する
 - ・4ヶ月は期間が長く金銭面で苦しいことが多々あり、お金を親や親友から工面してもらい、支給日に返金することがあった
- 給食費や電気・ガス・通信費などの支払いは毎月だから
 - ・家賃など毎月かかるから
 - ・毎月、放課後児童クラブの集金など（自費）があるため
 - ・毎月の給料で生活しているので手当も含めて生活していけると有難い
 - ・月々の支払いや、学校の集金など滞ると迷惑をかけるし、ストレスになる
 - ・どうしても1ヶ月の月謝やいろいろ出るので2ヶ月に1回の方が心のゆとりが出て助かる
 - ・家賃を預金から崩さずに払えるから
 - ・ほとんどの方は1ヶ月に一度給与をもらって生活していくスタイルなのに、ひとり親には違う支給の仕組みは差別だと思う
- 赤字が早く補える
 - ・毎月のお金が大変なので赤字を早く補えるため
 - ・生活費（光熱費）の支払いを滞納する期間が短縮されて、電気や携帯電話が切れる心配がなくなる
 - ・急な出費や、クレジットカードの返済等対応しやすくなるから
 - ・何あった時の不安が少なくなる
 - ・月々の収入が低いため支給が2ヶ月に1回になれば子どもの部活動での交通費など予想できない出費がたくさんある月は助かる
 - ・貯金ができないので2ヶ月に1回だと少し余裕ができると思う
- 毎月だとなおいい
 - ・毎月もらいたいが、すぐ使うものなので2ヶ月になっただけでもありがたい
 - ・いつも支給される月がとても待ち遠しいので、2ヶ月に1回になる事はうれしい。毎月でもいい
 - ・私は、何年も前から支給頻度を短くしてほしいと役場へ言ってきた
 - ・急に必要になる時が多いので、毎月でも有難い
 - ・毎月の支払いがあり、こまめに支給される方が助かる
- そのほか
 - ・働いてないので毎月のやりくりが大変。自分も学生なので時間はないがコピー代がかさむなど出費があるため
 - ・今現在、体調不良で働けていないため
 - ・今は仕事ができるが、もし働けない時があったら4ヶ月も先は困ると思った
 - ・毎月毎月が大変なため、現金が欲しいから
 - ・高校生になると児童手当がなくなり月の収入額の差が大きくなる場所を少しでも差をなくせる
 - ・足りない月は親から借りていたから
 - ・4ヶ月はスパンが長く、いつ振り込まれるかわかりづらかった
 - ・支給のない月は気持ち的に苦しい。その回数が減るのでその分、気持ちに余裕ができると思う
 - ・ギリギリの生活なので額が変わるわけではないが気持ち的に助かる

《うれしくない》

- まとまって入ったほうが管理しやすい
 - ・4ヶ月分まとまっていると管理しやすい。生活に困った時に補填できる
 - ・まとめていただくほうが、その時点までがんばれるから
 - ・こまめに出るのは助かるが、まとまって入らないので、私はそこが気になる
- 2ヶ月に1回だと使ってしまうから
 - ・なるべく預金に回すようにしたいので、まとめて入ってきた方が使い込みしない
 - ・2ヶ月に1回の支給になると、お金が振り込まれたことに安心して使ってしまうそうなので
 - ・1度に振り込まれる金額が少ないと、毎月の生活費に当ててすぐに消えそう

- もっと前に2ヶ月に1回にしてほしかった
 - ・ 受給資格がもう少しで終わることを考えると、もう少し早く検討、決定してほしかった
 - ・ もうすぐ手当の支給が終わってしまうため、今頃変わってしまうががないと思う。できればもっと早くそうしてほしかった
- そのほか
 - ・ 毎月の方がいいから。月々の支払いは毎月なのに、支給が2ヶ月や4ヶ月なので、支給があるまで借金するから
 - ・ 4ヶ月に1回支給でいいから、所得制限をもっと引き上げてほしい
 - ・ 年末に出費が多いので、昨年までは12月に支給があるのが助かっていた

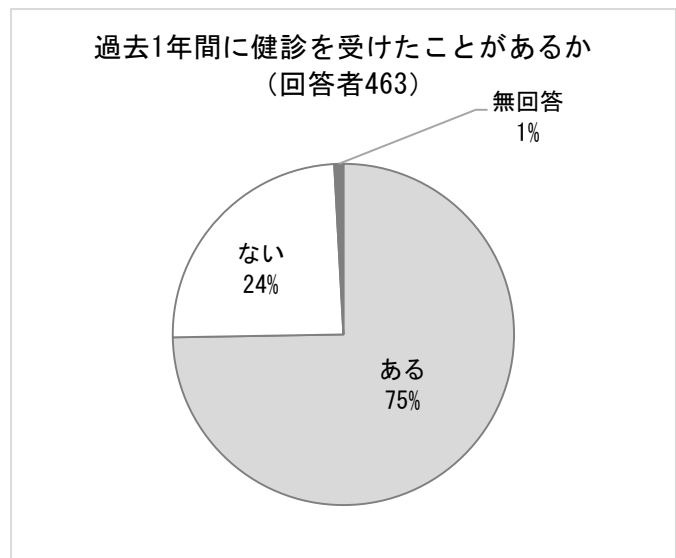
《どちらでもいい》

- 4ヶ月に1回の支給になれている
 - ・ 今まで4ヶ月に1回の支給で慣れている。支給方法で困ることはなかった
 - ・ 4ヶ月に1回でも不便はなかった
 - ・ まとまった金額が必要な時もあるので、4ヶ月に1回の方が助かることもあるため
 - ・ 4ヶ月に1回の計算で今までやってきたので特に変わらない
- 今まででも管理しているから
 - ・ 4ヶ月に1回でも計画的に使っていたので。それほど変わらない。
 - ・ いつ支給されても計画的に使っている。
 - ・ きちんと計算して生活している為
 - ・ どちらにしても1ヶ月分に割って、生活費として使っている。
 - ・ 1ヶ月の支給額は変わらないから計画的に使用しているためどちらでも良いです
 - ・ 使いすぎないように1ヶ月ずつ口座から引き出すのでどちらでも変わりません
 - ・ 支給された時にきちんと分けて使っている、支給額が変わらなければあまり気にしない
- 貯めているから関係ない
 - ・ 大学のために貯めているので、すぐに使わない
 - ・ 4ヶ月に一度、まとめて学費を支払ったり、不足した生活費に充てているため
 - ・ ほぼ全額を進学学資のため貯金しているので支給されるだけでありがたい
 - ・ 4ヶ月に1回の方が貯金しやすいが、2ヶ月に1回の支給になると生活費にあてられて助かる部分もあるから
 - ・ 毎年、子どもの進学などで、3・4月にかなりお金がかかるので、その費用にしている。月々の生活費にはできるだけ使わないようにしているから
- そのほか
 - ・ できれば毎月がいい
 - ・ 年間の金額が変わらないのならどちらでもいい
 - ・ 3ヶ月で手当支給が終わるので
 - ・ 2ヶ月に1回になってみないとわからない
 - ・ 減額しなければどちらでもいい
 - ・ 別の手当と2ヶ月ずつの間隔でもらえているので急な大きい出費がなければギリギリなんとかできているので
 - ・ 手当が入ればいいので、逆に振込手数料分、支給額を増やしてほしい
 - ・ 行政の仕事負担が多くなっていないのか。なってるなら今まででよかった。できる限り、制度を利用する人が減れば、国民の負担も少なくなると思うが、支給をあてに計画や生活はしたくない

5. 健康について

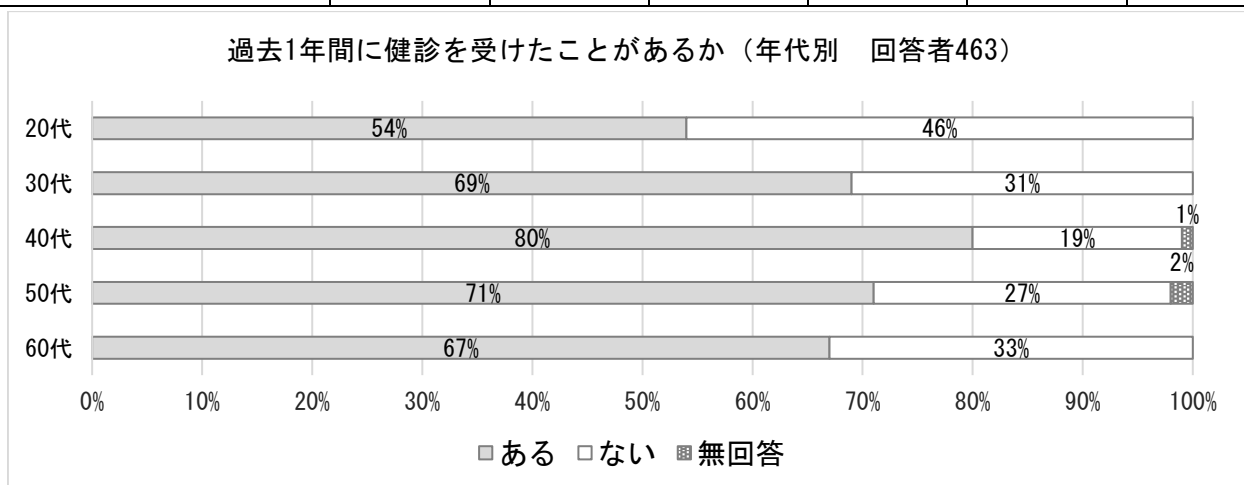
① 過去1年間に健診を受けたことがあるか（回答者 463）（表5-①）

	全体	
ある	346	74.7%
ない	113	24.4%
無回答	4	0.9%



② 過去1年間に健診を受けたことがあるか（年代別 回答者 463）（表5-②）

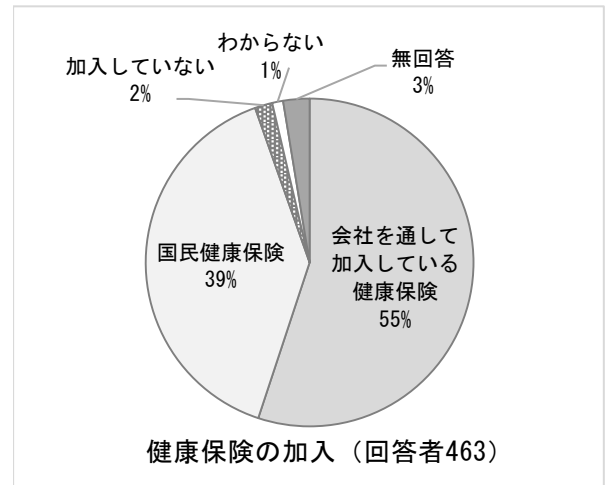
	全体	20代	30代	40代	50代	60代
ある	346	7	89	206	42	2
	74.7%	53.8%	69.0%	79.5%	71.2%	66.7%
ない	113	6	40	50	16	1
	24.4%	46.2%	31.0%	19.3%	27.1%	33.3%
無回答	4	0	0	3	1	0
	0.9%	0.0%	0.0%	1.2%	1.7%	0.0%
計	463	469	129	182	59	60
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



健診は回答者 463 人のうち 74.7%が受診している。年代別では 40 代の受診が 80.0%と最も高く、50 代 71%、30 代 69%、60 代も 67%と 6 割を超えている。20 代は 54%と最も低い。

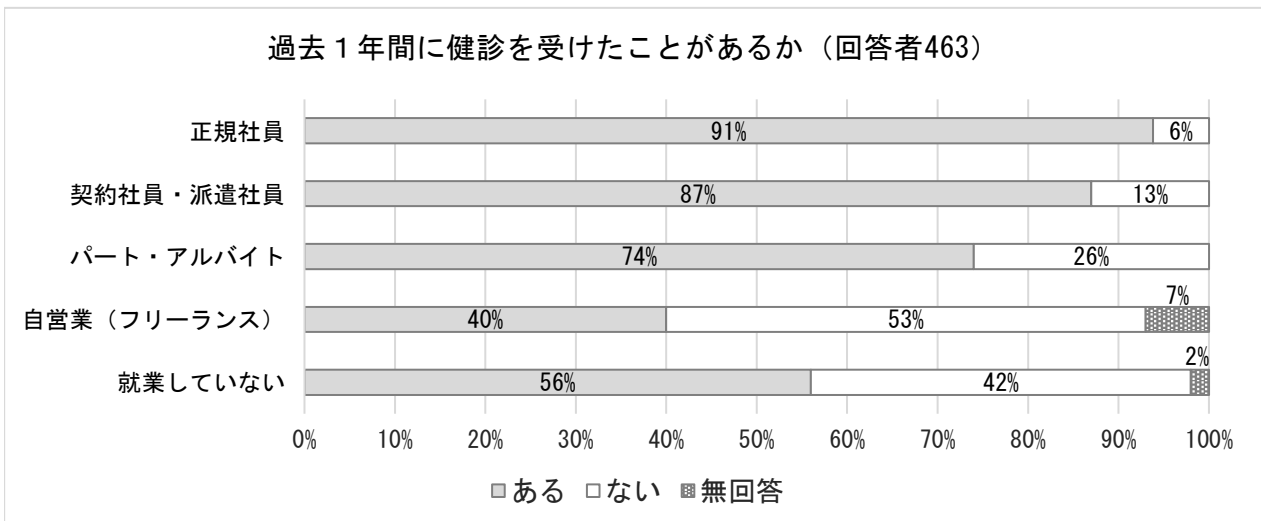
③ 健康保険の加入（回答者 463）（表 5－③）

	人	%
会社を通して加入している健康保険	255	55.1%
国民健康保険	183	39.5%
加入していない	8	1.7%
わからない	5	1.1%
無回答	12	2.6%
計	463	100.0%



④ 過去1年間に健診を受けたことがあるか（就業の状況別 回答者 463）（表 5－④）

	全体	正規社員	契約社員 ・派遣社員	パート ・アルバイト	自営業 (フリーランス)	就業していない	無回答
ある	346	67	74	151	6	45	3
	74.7%	90.5%	87.1%	73.7%	40.0%	55.6%	100.0%
ない	113	7	11	53	8	34	0
	24.4%	9.5%	12.9%	25.9%	53.3%	42.0%	0.0%
無回答	4	0	0	1	1	2	0
	0.9%	0.0%	0.0%	0.5%	6.7%	2.5%	0.0%
計	464	75	86	206	16	82	4
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



過去1年間の健診を受診の有無を就業の状況で見ると、正規社員が90.5%と最も高く、自営業（フリーランス）が40%と最も低く、就業していない回答者の受診率56%よりも低い。

⑤ 健診を受けなかった理由（回答者 113人 複数回答）（表5-⑤）

健診を受けなかった理由	順位	回答数
知らなかったから		5
時間がとれなかったから	2位	40
場所が遠いから		2
費用がかかるから	1位	66
検査等（採血、胃カメラ等）に不安があるから	5位	8
その時、医療機関に入通院していたから		4
毎年受ける必要性を感じないから		1
健康状態に自信があり、必要性を感じないから		2
心配な時はいつでも医療機関を受診できるから	4位	9
結果が不安なため、受けたくないから		7
めんどうだから		3
その他	3位	18

その他*（記述）

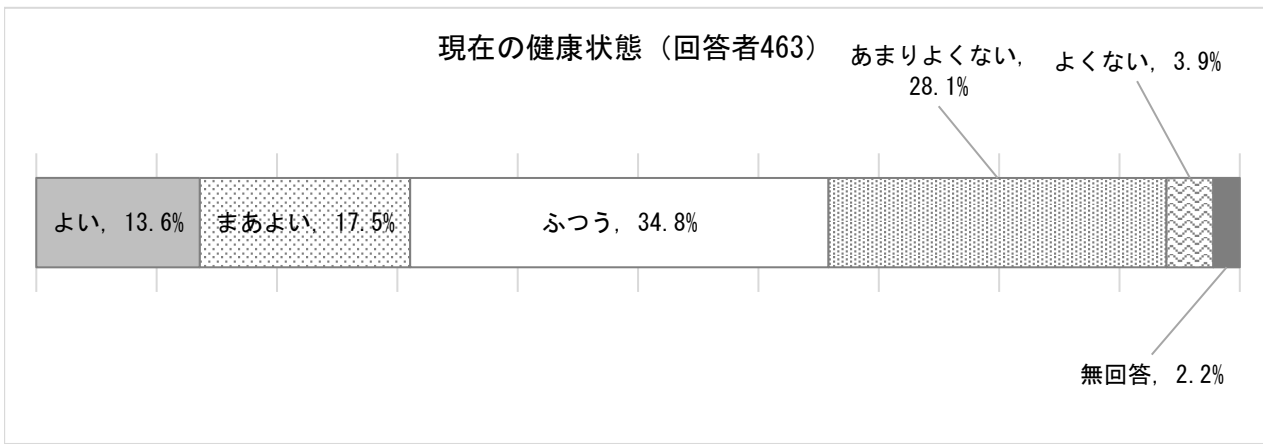
- ・毎月持病で通院しており、3ヶ月ごとに血液検査をしているから
- ・近くに車椅子で入れる指定機関がないから
- ・精神的に辛いから。主人をがんで亡くしたため
- ・しなければ…と思いつつ行けていない
- ・1000円の負担にも余裕がないため
- ・2年前からパニック障害とうつ病になり地下鉄、バス、タクシー、エレベーター、人が多い場所に出かけられないため
- ・子どもの事で動くことが多く、子どもの事で精一杯だった
- ・夫の健康保険から抜けられない（夫が手続き拒否）ため、家族扱いの健診のお知らせは転送郵便で届くが、居場所を知られたくないため、受診できない。区役所（地域）のも国保ではないので受けられない
- ・離婚調停中で、相手の扶養だったため保険証が使えなかった（いつ離婚決定になるか不明で検診が予約できなかった）
- ・会社で対象になるタイミングが合わなかった
- ・上司からのパワハラで心身共に体をこわし、30年度の健康診断を受ける事ができなかった
- ・会社で健康診断がないことが不安
- ・離婚時期にぶつかり行けなかった
- ・仕事が出来ないので会社の健康診断を受けられないし、住民票をうつしてないので市の健診も受けられないので
- ・受けられる期間を間違えていた
- ・職場の健康診断でもない限りなかなか行く機会がない
- ・気分、体調ともにすぐれず検診場所に行くことが苦痛だったため

【参考】健診や人間ドックを受けなかった理由（複数回答） *平成28年 国民生活基礎調査

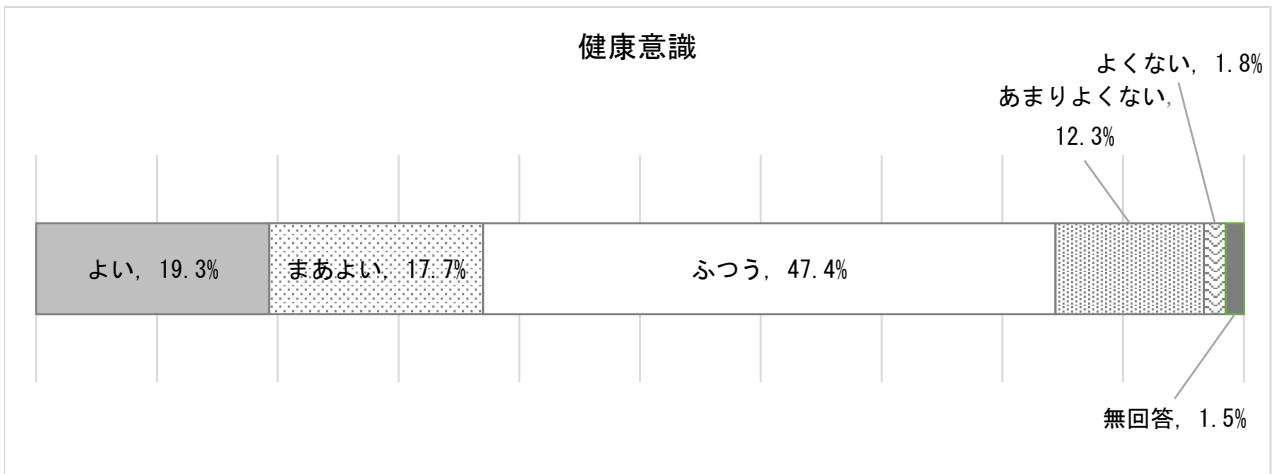
健診を受けなかった理由	順位	回答率
知らなかったから		3.5%
時間がとれなかったから	2位	22.8%
場所が遠いから		2.3%
費用がかかるから	4位	14.9%
検査等（採血、胃カメラ等）に不安があるから		3.7%
その時、医療機関に入通院していたから		9.6%
毎年受ける必要性を感じないから		9.7%
健康状態に自信があり、必要性を感じないから		8.3%
心配な時はいつでも医療機関を受診できるから	1位	33.5%
結果が不安なため、受けたくないから		5.4%
めんどうだから	3位	20.2%
その他	5位	11.7%

入学祝い金受給世帯の保護者が病気になり、減収となった人がいたため、健康状態について聞いた。健診を受けなかったと回答した113人があげた理由として最も多いのは「費用がかかるから」(66)、次いで「時間が取れなかったから」(40)が多い。そのほか、「検査等(採血、胃カメラ等)に不安があるから」(8)、「結果が不安なため、受けたくなかった」(7)、「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」(9)、「知らなかったから」(5)を未受診の理由としてあげている。国民生活基礎調査では1位は「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」であり、「費用がかかるから」は4位であり、「その他」には離婚が成立しておらず相手の扶養から抜けていないために国保にも入れず、受診できなかったという、プレシングルマザーならではの理由が見られた。

⑥ 現在の健康状態 (回答者 463) (表5-⑥)



【参考】健康意識 (女性) *平成28年 国民生活基礎調査



回答者463人の32%が、現在の健康状態が「あまりよくない」(28.1%)、「よくない」(3.95%)と答えている。国民生活基礎調査の健康意識と比べると、「あまりよくない」(12.3%)、「よくない」(1.8%)と回答率は国民生活基礎調査の2倍以上である。

「よくない」「あまりよくない」と答えた方の具体的な病気や不調の原因については、以下のとおりである。

《よくない》 回答者18

- ・躁うつ病、ぜんそく、発達障害
- ・社会適応障害、抑うつ症、高脂血症
- ・うつ病、甲状腺機能低下症
- ・急性気管支炎悪化
- ・ヘルニア、痙性斜頸、うつ病、パニック障害、ぜんそく
- ・4年半、合わない環境だったが収入のため無理を続けた結果、軽度うつ、適応障害になり休職中
- ・ストレスフルな為、全身、心身共に。
- ・複雑系 PTSD、脳梗塞
- ・筋肉性脳延髄炎
- ・双極性障害、パニック、人との関わりに極度の恐怖感、フラッシュバック
- ・乳がんになってしまっていた
- ・椎間板ヘルニアと頸椎症

《あまりよくない》 回答者 130

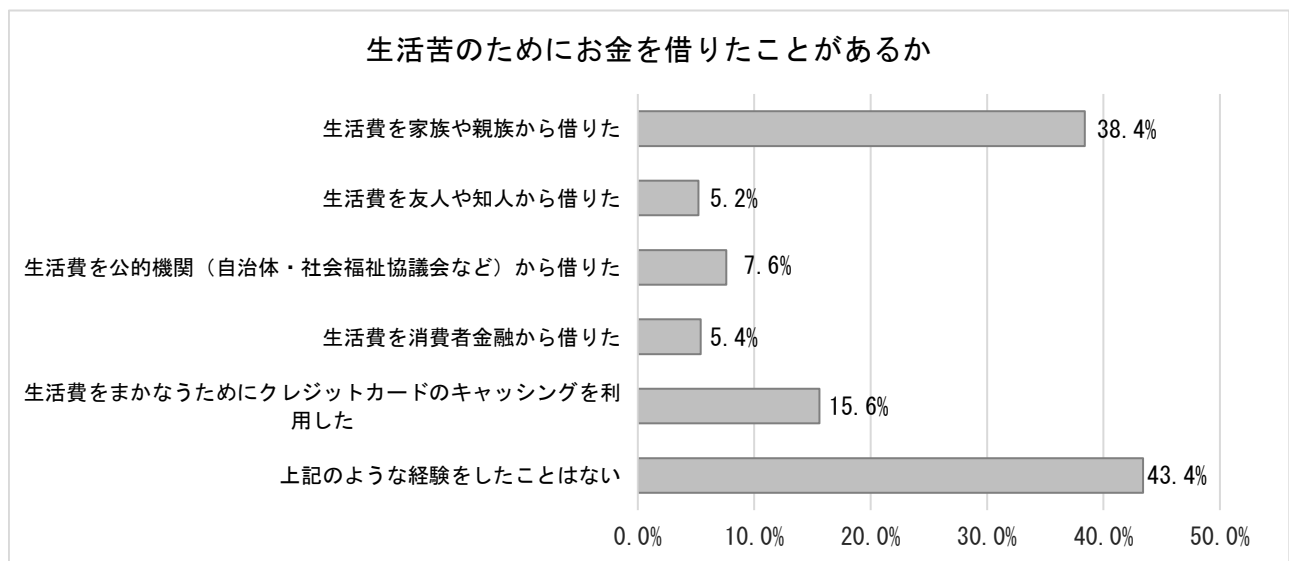
- ・肩が痛く、病院へ行くと長くなりそうだから通院していない
- ・肺 MAC 症、臼蓋形成不全、湿疹
- ・自覚症状は大変ではない程度だが、人間ドッグや健康診断では必ず要精密検査と診断される
- ・パニック障害の症状が出て働けない時がある
- ・自律神経が乱れているとのことで漢方を飲んでいるが体調不良の時が多い
- ・乳がん罹患したため体調がすぐれない時がある
- ・いつも疲れている。夜中に目が覚めて、寝付けない。やせすぎ。時間に追われて自分の時間がないので心の余裕がない。
- ・亜急性甲状腺炎から甲状腺のう胞で定期検査中。貧血は治療中。萎縮性胃炎、慢性胃炎、昨年は急性胃腸炎で入院。
- ・仕事を3~4つかけもちしている。睡眠時間がいつも3時間くらい。睡眠不足と過労だと思う
- ・前職でパワハラを受けてうつ病になって退職した。弁護士に相談している
- ・子宮頸がん、胃（ピロリ菌が原因で胃カメラ）、免疫力低下（風邪などひきやすい）
- ・養育費の支払いをしてくれないため、多く働いていて過労から倒れた
- ・疲労がたまりやすくめまいを起こす。乳がん手術後の経過は順調であるが、体力的に落ちたまま戻りきれない
- ・双極性障害
- ・糖尿病
- ・リウマチ
- ・狭心症の疑いで通院中。原因は不明
- ・ぜんそく、メニエール
- ・不眠症、無感情、落ち着かない（立ちっぱなし）
- ・甲状腺がんの治療中のため
- ・離婚後、狭心症で入院2回、その後はストレスで食べてしまい脂肪肝になった
- ・反抗期の息子に死ねや消えろや里親と言われ生活するので苦痛。家を壊されてまで面倒見るのが辛い
- ・市の健診で子宮がんと乳がんにC,Dの判定
- ・しゃべっていても口が回らない頃があり、無気力。頭が常にクラクラする。
- ・脳過敏症
- ・めまいや頭痛が多々あり。子どもにもストレス（進学不安等）がある
- ・病名はわからないが、軽いふらつきと強い疲労感があり調べているところ
- ・ぜんそくと貧血
- ・ヘルニア、脳梗塞
- ・不正出血、ぎっくり腰。原因は疲れ
- ・慢性腰痛が治らない。睡眠不足。家事育児を休むことができないので仕方ない
- ・めまい、頭痛、肩こり、腰が痛い、仕事が大変でストレスが溜まる
- ・アレルギー性鼻炎から風邪をひき、なかなか治らない。離婚直後でメンタル的に病んでいる
- ・離婚による大きなストレス、これからの介護についての不安、更新期、カサンドラ症候群の状態からまだ抜け出せない

- ・ だるかったり、不正出血があったりする
- ・ 全身に原因不明のブツブツがためにできるが皮膚科でも原因がわからない（疲れやストレスか）
- ・ IBS や頭痛などで仕事に支障があるから
- ・ 胃で要精密検査となった。胃腸、頭痛がほぼ毎日
- ・ 抗がん剤治療中だが、更に転移が見つかり治療が難航中
- ・ 疲れやすい、不安障害、大人の ADHD（衝動性が高い）
- ・ 緑内障（軽度だが見えづらい）
- ・ 潰瘍性大腸炎で体が重い
- ・ パニック障害が出ると辛い。慢性的に頭痛もあり、しんどい
- ・ 甲状腺炎や肝炎などの持病があり、無理ができないので適度なペースで働いている
- ・ 夫からの DV 等により、うつ発症で治療中
- ・ 更年期による不調が出はじめたことと、障害のある子の育児での精神的、肉体的疲労
- ・ DV によるストレス障害と、更年期障害が重なり、働くのがやっとという状態
- ・ 統合失調症、バセドウ病
- ・ 潰瘍性大腸炎
- ・ 自律神経がみだれて生理がストップしている
- ・ 子宮内膜症などで内臓が癒着して薬が必要だが保険対象外なので痛くても放置してる
- ・ 目の病気で治療中である（原田病）
- ・ 13 年間、健康診断などを受けていない
- ・ 現在、入院・手術が必要な病気が 2 つあるため

6. 暮らしについて

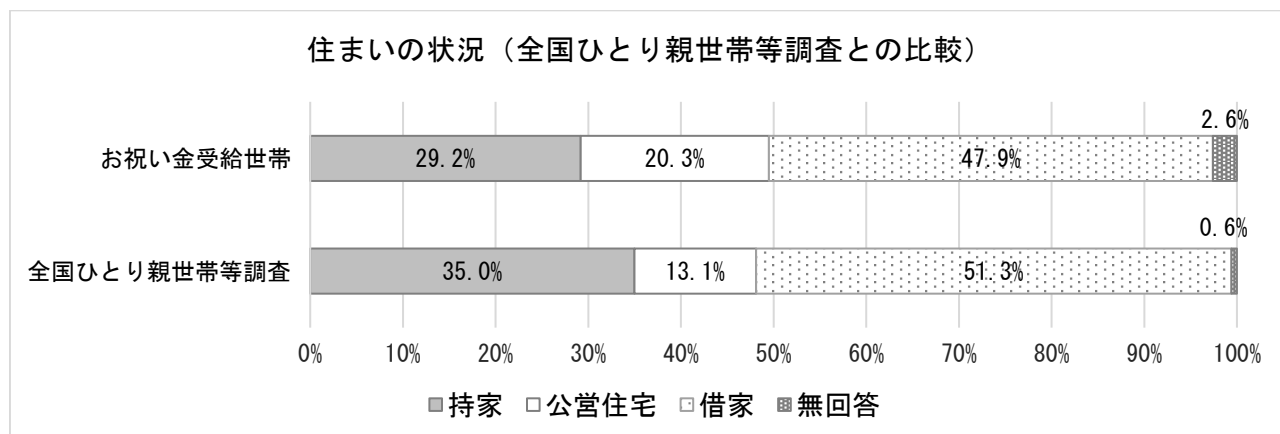
① 生活費のための借金（回答者 463 複数回答）（表 6-①）

お金を借りた相手・方法	回答数	回答率
生活費を家族や親族から借りた	178	38.4%
生活費を友人や知人から借りた	24	5.2%
生活費を公的機関（自治体・社会福祉協議会など）から借りた	35	7.6%
生活費を消費者金融から借りた	25	5.4%
生活費をまかなうためにクレジットカードのキャッシングを利用した	72	15.6%
上記のような経験をしたことはない	201	43.4%



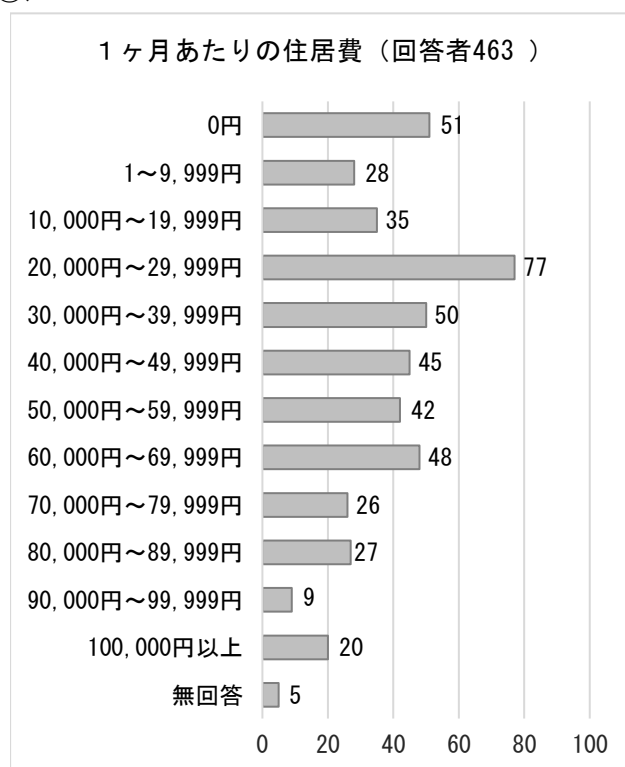
② 住まいの状況（回答者 463）（表 6－②）

持家 29.1%		借家 68.2%					無回答	計
本人名義	親族の名義	公営住宅	公社・ 公団住宅	借家	同居	その他		
53	82	94	21	162	9	30	12	463
11.4%	17.7%	20.3%	4.5%	35.0%	1.9%	6.5%	2.6%	100.0%



③ 1ヶ月あたりの住居費（回答者 463）（表 6－③）

住居費	人	%
0円（費用負担なし）	51	11.0%
1～9,999円	28	6.0%
10,000円～19,999円	35	7.6%
20,000円～29,999円	77	16.6%
30,000円～39,999円	50	10.8%
40,000円～49,999円	45	9.7%
50,000円～59,999円	42	9.1%
60,000円～69,999円	48	10.4%
70,000円～79,999円	26	5.6%
80,000円～89,999円	27	5.8%
90,000円～99,999円	9	1.9%
100,000円以上	20	4.3%
無回答	5	1.1%



④ 住まいの状況と住居費（回答 458）（表 6-④）

	持家	公営住宅	借家	無回答	計
総数	134	94	218	12	458
	29.3%	20.5%	47.6%	2.6%	100.0%
中央値（円）	25,000	25,000	55,000	20,000	35,000
平均値（円）	28,222	29,255	55,528	27,500	41,474

⑤ 東京都在住の回答者の住まいの状況と住居費（137）（表 6-⑤）

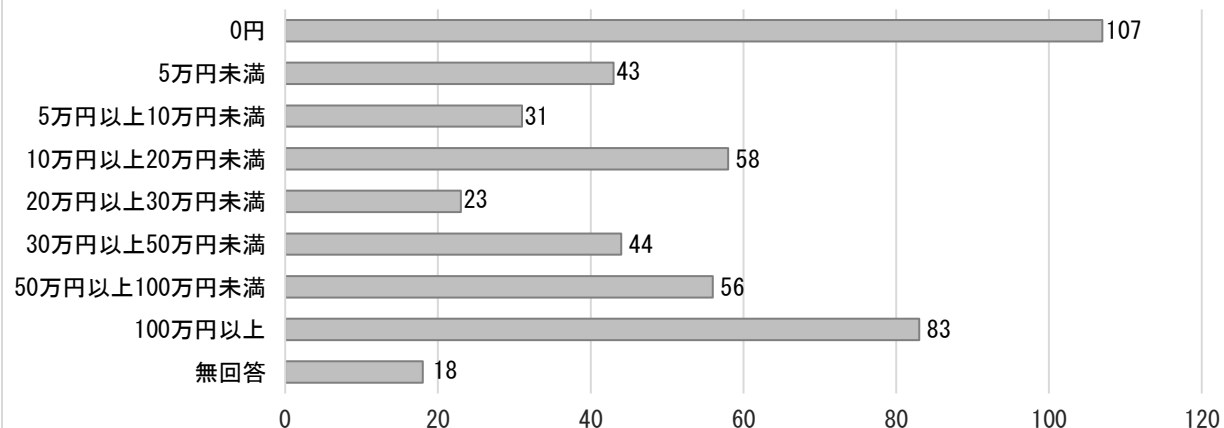
	持家	公営住宅	借家	無回答	計
総数	28	29	78	2	137
	20.4%	21.2%	56.9%	1.5%	100.0%
中央値（円）	25,000	25,000	70,000	60,000	45,000
平均値（円）	35,536	27,069	62,500	60,000	49,453

回答世帯 463 の住居の状況は持家が 29.2%、借家が 68.2%を占め、全国調査の持家 35.0%、借家 64.4%に比べて持家の割合が低い。借家のうち公営住宅の占める割合は、回答世帯は 20.3%、全国調査（母子世帯）の 13.1%よりも 7ポイント以上高い。住居費の中央値と比較すると、公営住宅は 25,000 円であり、持家 25,000 円と並ぶ。一方、公営住宅を除く借家の住居費は 55,000 円と公営住宅の負担額の 2 倍以上である。東京都の回答世帯に限ると、借家の住居費は 70,000 円であり、公営住宅の 2.8 倍となっている。公営住宅に入居できないひとり親には住居費は大きな負担となっている。

⑥ 現在の預貯金額（回答者 463）（表 6-⑥）

預貯金額	人	%	累積%
0 円	107	23.1%	23.1%
5 万円未満	43	9.3%	32.4%
5 万円以上 10 万円未満	31	6.7%	39.1%
10 万円以上 20 万円未満	58	12.5%	51.6%
20 万円以上 30 万円未満	23	5.0%	56.6%
30 万円以上 50 万円未満	44	9.5%	66.1%
50 万円以上 100 万円未満	56	12.1%	78.2%
100 万円以上	83	17.9%	96.1%
無回答	18	3.9%	100.0%
計	463	100.0%	

現在の預貯金額（回答者463）

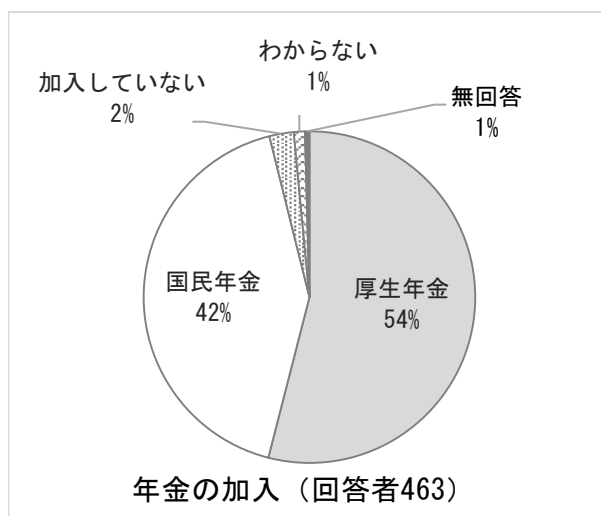


回答者 463 の貯金額で最も人数が多い層は「0円」23.1%で、「5万円未満」9.3%と合わせると32.4%に上る。一方、「50万円～100万円未満」12.1%、「100万円以上」17.9%で、合わせて30.0%を占める。入学時に、10万円～30万円の費用が必要だが、その費用を預貯金から出すということができない世帯が多いということがわかる。

7. 加入している年金と健康保険

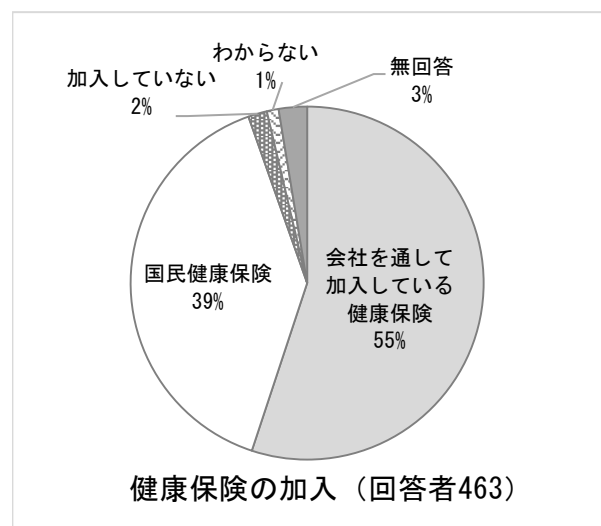
① 年金の加入（回答者 463）（表 7-①）

加入の状況	人	%
厚生年金	250	54.0%
国民年金	195	42.1%
加入していない	11	2.4%
わからない	5	1.1%
無回答	2	0.4%



② 健康保険の加入（回答者 463）（表 7-②）

加入の状況	人	%
会社を通して加入している健康保険	255	55.1%
国民健康保険	183	39.5%
加入していない	8	1.7%
わからない	5	1.1%
無回答	12	2.6%



新入学お祝い金受給者の声

【小学校入学】



【入学されたお子さんから】

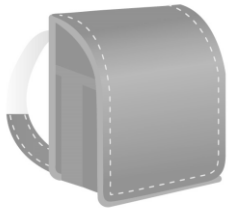
ほしかたらんどせるき
かてもらえました
ありがとう♡

【入学されたお子さんから】

おいおいありがとう
ございます。♡
ママ

【保護者の方から】

ひとり親でパートのため収入が少なくて、このように
知り、利用できて大変嬉しかったです。
小学校入学でも準備に万単位のお金がかかり、色々と買えるか心配
でしたが、とても助かりました。ありがとうございました。



がこいのランドセルが
かてもらいました。
ありがとうございました。

【保護者の方から】

おかげ様で、新品のランドセルや学校指定品を買ってあげる事が出来ました。
出来るだけ、中古品で安く買おうと思っていましたが、ランドセルを買ってあげられない事が
悔しくて、悲しくて、どうしようかと泣いていました。
今日支給していただいて、世の中の誰かが助けてくれる事に感謝してお
す。声を上げて泣いてしまいました。
社会福祉は冷酷で、身内も残酷で、もう生きる事すらあきらめていました。
心ある方々の差し出していただいた身を、ありがたくありがたくにぞりしめ、
子供と生きていこうと思えます。
本当に、ありがとうございました。

【中学校入学】

【入学されたお子さんから】

制服とか、お金かかると聞いてわかってはいたけど、
おいおい金のおかげで買えてうれしかった。
部活のお金にもお礼ができて。
ありがとうって言ってます。



【入学されたお子さんから】

ありがとうございます。
私は吹奏楽部にはいりました。
免カもかかっています。

【保護者の方から】

制服の一部はお礼金で買ったけど、購入した分だけ
本稼着は兄が使った必要分を返してあげました。
進学というわけでもお金がなかった。公立と違って。
自分の月給、金等のおかげで部活の費用もまわす
でいいよ。でも自分のカネを返さないと、いろいろと
傷つけられるから、質問もたくさんお返ししています。
バカの方々は親身になってくれています。自分も役にた
てたいと思っています。感謝しています。

【保護者の方から】

中学生になり、毎日頑張って学校に行っています。
部活が楽しいようで休みの日も部活活動に励んでいます。
中学校の入学準備は、知り合いから制服を頂いたりしたので“か”
思った以上にお金がかりました。。。
でも、今回頂いたお祝金のおかげで、無事に準備する事が出来ました。
また、これから頑張って働いて、コツコツとお金を貯めていかねばですね!!
本当にありがとうございます。
これから先、支援してくださった方々に私からも子供からも何か恩返しが出来
たらと思っています。

【高校入学】

【入学されたお子さんから】

僕はこれから看護師をめざします。
色々教材費にお金がかかるんだけど、やっぱりこの
お金を使わせてもらいました。ありがとうございます。

【入学されたお子さんから】

私立高校に行く事になったので、お金がかかる事を
心配していましたが、新入学お祝い金を頂いた事で、
本当に助かったと母が喜んでいました。
私も感謝の気持ちでいっぱいです。

【保護者の方から】

公立高校が不合格で私立高校に行く事になったため。
覚悟していたとはいえ、本当に多額の費用がかかりました。
介護のため就業できず、節約の毎日です。そんな中、新入学お祝い金を
頂いた事で、どれほど助かった事か...! 私達のことを見てくれる
人もいるんだと、温かい気持ちになりました!
学校の入学金の費用に充てさせて頂いたのと、娘の大好きな食材で
ごちそうを用意し、家族でお祝いしました。
本当に感謝してもしきれません。ありがとうございます!



【大学入学】

入学時は特に教科書代・パソコン代など諸々の出費が多く困っていましたが、3万円のお祝いをしていただいたことで、だいぶ負担が減り、助かりました。このよきな活動のおかげで私のように助けられる子供たちが増え、子供たち一人一人の未来の選択肢が広がっていいな、と思います。ありがとうございました。

【入学されたお子さんから】

入学お祝い金を下さりありがとうございました。小学生の頃からずっと目指していた漫画家という夢を叶える為に高校以上に勉強に励み、アツとしてデビュー出来る様に頑張ります。頂いたお金は画材や教科書代に大切に使用させて頂きました。

【保護者の方から】

この度は、大学に入学する長女のために、入学お祝い金をくださり、本当にありがとうございました。昨年、裁判により離婚が成立し、裁判費用の返済に数年かかる為、長女は最初、大学進学をあきらめていましたが、一度しかない人生だからと、私が奮め、志望校に合格できました。入学前から多額な費用が必要になる為、お祝い金で画材を買い揃えることができました。皆さんの善意にお支えられていることを親子共々、感謝しています。



【専門学校入学】

【保護者の方から】

〇今回、高校卒業後、専門学校の入学お祝い金を頂き誠に有りがたくございます。娘は、沖縄から福岡へと2年間、希望していた学校へ行けず、大変、嬉しく思います。お祝い金は大事に使わせて頂きました。卒業できる様、親子共々、元氣張っていきますので、応援の方宜にお祈り致します。

「思ったより入学準備にお金がかかった」「お祝い金をもらう気持ちが楽になった」「本人のほしい物を買ってあげられた」「お祝いしてくれる人がいると思いうれしかった」

【小学校入学】**親** 祈る思いで入学祝いの通知を待っていました。思った以上に用意するものが多くなんとかこのお祝い金が届きますようにと願っていました。ランドセルは困らないようにと2年半前準備していたので問題なかったのですが、もらえなかったらどうしようという状況でした。季節外れのサンタが来たというくらいありがたくうれしいものでした。子どもに寂しい思いをさせることなく入学させてあげることができました。ありがとうございました。（掲載可）

【小学校入学】**子** 知らない自分のために優しいと思う。自分も相手のために優しくしたいと思う。ありがとうございました。**親** たまたまこういう制度があると知って恩恵を受けることができ本当に幸せだと思います。ありがとうございました。もっともっと自分より大変な生活をしている方がいるかもしれない中でありがたい気持ちと同時に申し訳ないような気もしています。これから仕事をしていき、子どもに手がかからなくなり、生活に余裕ができれば、恩返しできるように頑張りたいと思います。（掲載可）

【小学校入学】**親** 今回は新入学お祝い金をいただくことができ、大変助かりました。正直入学だけでこんなにお金が出ていくとは思わなかったので、とても助かりました。ありがとうございました。（掲載可）

【小学校入学】**親** この度は入学お祝い金をいただきありがとうございました。文具、体操着などの細かい出費が多く、とても助かりました。子ども本人に文具を選ばせてあげることができ（キャラクター）とても喜んでいました。まだまだ周りの方々や国・自治体に頼りながら生活させていただいており、自身の力不足に恥ずかしいという思いがある反面、困って時に手を差し伸べてくださる方々が多くいるこの日本（また制度）に感謝でいっぱいです。今後は同じように、子育てをしている保護者の方々、そして子どもたちに少しでも手助けできる、寄りそえる保育士を目指していきたいと思います。この制度でとても救われましたことを知っていただけたらなと思いました。ありがとうございました。（掲載可）

【小学校入学】**子** 応援してくれてありがとう **親** 新入学お祝い金、本当に助かりました。どうもありがとうございました。行政からいくらか支給されると聞いていましたが、2月中旬振込予定となっていたのに実際に振り込まれたのは3月下旬。実際の学用品購入はそれよりも早く、学童の申し込みも最初の2ヶ月は前払い、そのくせに入学前は預かり（学童保育）が制限され、ファミリーサポートを使って乗り切らなければならないなど。そんななかでお祝い金は本当にうれしかったです。私の両親は2人とも存命ですが、お祝いのことばかり自分たちの遊興費を欲しがるといふ人間で、今はほぼ絶縁することができ安心しています。親から応援してもらえない私たちのことを支えてくれる人たちがいるのだ。その気持ちを胸に頑張ることができます。ありがとうございました。（掲載可）

【小学校入学】**子** お祝い金のごことはきちんと伝えたのですが、きちんと理解できている感じではありませんでした。その中でも様々な人が自分のために動いてくれているということは理解できたようで、「ランドセル、ママとかいろんな人のおかげで買えたんだよね！！かわいいランドセルでうれしい！！ありがとう

う!!!」と言っていました。**親** お祝い金のおかげで、入学前に準備しなければいけないもの（さんすうセットなどで授業で使用するもの）を新品で買いそろえてあげることができました。みんなと同じものを使うことができうれしいようです。娘も大喜びでした。お気に入りのランドセルで毎日元気に学校へ通っています。支援していただき本当にありがとうございました！（掲載可）

【小学校入学】**子** 小1なので通して母代筆させていただきました。購入などの支度金が「私学等」に入るため助成されませんでした（区）。今回、こちらの団体様の入学お祝い金は、大変救いでした。心より感謝申し上げます。ただ他にもたくさんのお用意が必要でしたので、物品（白くつ下）なども対応いただけたら本当に何も言うことありません。**親** 着古しの制服や体操着のおかげで、概ね負担は避けられましたが、障害年金受給中につき、本当に困っています。所得など提出できますので、より困っている家庭にお祝いを上乘せしていただけたら幸いです。手間かもしれませんが、領収書の回収などを義務づけて「これが買えた」という部分を是非助成されたしんぐるまざあず・ふぉーらむ様にも共有してもらえると、使途がより具体的に伝わりかつ、足らず苦悩する家庭も改善につながると思います。（掲載可）

【小学校入学】**子** 入学式にかわいい服が着られて良かった。**親** 小学校ではそんなに費用はかからないと思っていたのですが、説明会で、体操服、水着、絵の具セット、けんぱんハーモニカ等々、購入しないといけない物があるのを知り、あせりました。おさがりで済ますつもりでしたが、学校で友達にいろいろと言われるそうなので（上の子におさがりを使わせたらいじめられました）他の子と同じ物を用意できて、親も子どももホッとしています。（掲載可）

【小学校入学】**子** 学校用の体育着やカバン、ランドセルなど買う事ができありがとうございました。将来、薬剤師や医師など人を助ける仕事につきたいと思っています。毎日教科書を何回もよんで勉強しています。本当にありがとうございました。**親** 私が突然乳癌になってしまい、仕事も休職し、治療で入院したり…。と一時的に多額のお金もかかってしまい、お金の事、子どもの小学校入学の事、毎日いっぱいだった。お祝い金が頂けて本当に助かりました。本当にありがとうございました。（掲載可）

【小学校入学】**親** 感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。おさがりのランドセルを使わせる予定でしたが、新しいランドセルを買ってあげられて本当に良かったです。ありがとうございました。返信が遅れてしまってすいません。（掲載可）

【小学校入学】**子** 子どもには、離婚したこと、シングルマザーであること伝えていません。すみません。子どもからのお礼ができずすみません…。**親** 本当にありがたいです！うちの小学校は制服があるのですが、4万以上もかかります。「私服よりも楽だし、長期的にみたら制服の方がお金がかからないよー」と言われますが、今すぐに4万以上を即払うのがとても厳しかったので、本当に助かりました。ありがとうございました！！（掲載可）

【小学校入学】**子** 雨の日でもないのに、長靴を買って貰えたことがとてもうれしく、毎日履いています。かばんやくつ（体育館シューズなど）がお友達と同じ新しいものでうれしいです。ありがとうございます。**親** 今まで入学準備はお下がりばかりで、入学前からいろいろな方にお声掛けしてかき集めて何とか揃えていたり、必ず子どもたち（3人）が小中高大学へ入学、進学する際にはいろいろなことが重なり（今回は子ども二人が新入学）、経済的にどうしても無理だったところを助けていただきまして、ありがとうございます。ストーカー事件で友人知人のない場所への転居が多いため、本当に助かりました。今いる地域の高校は、お下がり禁止だったので、このような活動をされていることに心より感謝しています。（掲載可）

【小学校入学】**子** カッコいいランドセルを買ってもらいました。ありがとうございました。**親** おかげ様で新品のランドセルや学校指定品を買ってあげることができました。できるだけ中古品で安く買い揃えていましたが、ランドセルを買ってあげられないことが情けなくて、悲しくて、どうしようかと泣いていました。

今回、支給していただけて、世の中の誰かが助けてくれることに感謝しております。声を上げて泣いてしまいました。社会福祉は冷酷で身内も残酷でもう生きることすら諦めていました。心ある方々の差し出していたいただいた手をありがたく、ありがたく握りしめ子どもと生きていこうと思います。本当にありがとうございました。（掲載可）

【小学校入学】**子** ありがとうございます。**親** この度は、入学にあたりまして結構なお祝いを賜り誠にありがとうございました。娘は、4月9日に無事入学式を終えることができました。寄付者様並びに関係者各位の皆様にお礼申し上げます。寄付者様のおかげで生活にも心にも余裕ができ、5月からキャリアアップの為、転職しました。これからふたり力を合わせて頑張っていきたいと思います。本当にありがとうございました。（掲載可）

【小学校入学】**子**（小学生（6歳）ですが、しんぐるまざあず・ふぉーらむの皆様、寄付、支援して下さっている皆様のお話を子どもによく説明しました）「ありがたいね。本当に感謝だよね。」というのが、お祝い金のお知らせを受け取った時の子どもの第一声でした。（大人びた言葉づかいをする子どもです）**親** 経済的にも精神的にも苦しいので、本当にありがたいです。感謝しています。DVで夫から逃げ自力だけで子どもと二人で別居して1年半ほど。調停不成立、夫が合意せず離婚成立しない為、母子家庭としての支援が受けられません。当然、区役所には相談していますが児童手当すら（児扶手ではないです。もちろん申請できません）切り替えてもらえずにいます。夫の所得が高く同一世帯（扶養も抜いてもらえません）扱いで、小児医療証もありません。子どもの親権を主張していながら誕生日、クリスマス、入学何ひとつ夫からお祝いはありません。（夫の父からも）子どもの入学を祝ってくれる人がいるのだと子どもに伝えられたことがうれしかったです。支援していただき、私達親子はとても恵まれていると思っています。ありがとうございます。支援、応援できる側になることを目指してもう少しふんばりたいと思います。DV。夫には弁護士、調停などを通じて、扶養からはずすように伝えているが手続きしてもらえない。また、区役所も扶養からはずれなければ国保に入れれないと言いつつ手続きしてくれない。夫の所得が高いので医療証なしで子の窓口負担も私が負担している。（掲載可）

【小学校入学】**親** 働けなくなり途方にくれるなか、本当に助かりました。（掲載可）

【小学校入学】**子** 毎日カッコいいランドセルを背負って学校や学童に行くと友達もできて楽しそうです。ありがとうございます。勉強頑張るそうです。**親** 夫に浮気相手と同棲するために別居され少ない婚姻費用で子ども2人（6歳と2歳）と暮らしています。裁判や不安の中、離婚が成立してないため行政はなかなか支援をしてくれず困っていました。就学援助も夫が住民票を移してくれないため別居が確認とれないのと、離婚が成立していないため入学前の秋から相談に行ったがダメで、入学した後に私も精神的に参っているので、仕事も少ないパートくらいなため入学がとても不安でした。ご寄付をいただいたことでランドセルも子どもに選ばせることができ本当に感謝しています。これからまだ不安はつきませんが、子どもたちのためにも頑張りたいと思います。行政は別居中（離婚前）のグレーゾーン状態にも支援に乗り出してほしいです。（掲載可）

【小学校入学】**親** 私は一人親家庭で2人の子ども（小1、小3）がいます。養育費は一年以上ストップしたままです。義務教育とはいえ入学するにあたりたくさんの費用がかかりました。これから先も子どもの成長に合わせ、制服、通学用の靴、シューズ、体操服、帽子など買い換えなければなりません。子どもたちが成人するまでどのくらいの費用がかかるのか想像がつかないのが現状です。子どもたちの友人は習い事に通っていますが、我が家には余裕がなく…。この度の入学お祝い金とてもありがたく感謝の気持ちでいっぱいです。私はがんサバイバーです。シングルマザーのがんサバイバーに対しての助成があるととてもありがたいです。ひとり親の医療費助成も所得制限なしで対象になる日が早く来ることを願っています。（掲載可）

新入学お祝い金受給者の声

【中学校編】

「部活動でがんばっています」「中学のために自転車を買うことができた」
 「制服、体操着、上履きなどを用意できた」「ワラをもすがの思いで申込み
 ました」

【中学校入学】子 中学生になり吹奏楽部に入部しました。フルートになりました。楽器は借りられますが、チューナーメトロノームとメンテナンス用のものが必要となりました。母は心配ないと支払ってくれました。安心して活動ができます。楽しい充実した毎日を送っています。ありがとう。親 一年上の男子を持つお母さんから制服代、体操服代、いろいろ聞いて覚悟はしていましたが、とにかく高い。中学入学と同時に娘のメガネも買い替えとなりさらなる出費でしたが、お祝い金を頂けることとなり、大いに助かりました。初めは帰宅部にすると言っていた娘も吹奏楽部に入りたい、勉強も部活も頑張りたいと意欲を見せ、毎日楽しそうに通学しています。この様な機会に恵まれて本当にありがとうございました。（掲載可）

【中学校入学】子 入学金をいただいたおかげで不自由なく学校にかようことができます。ありがとうございました。いつか私も寄付をしたいです！親 公立の中学校へ入学するにあたり、大きな出費になるとは考えておらず準備不足でした。制服、体操着、かばん、靴など最低限の物をそろえるだけでも、結構な出費でした。入学お祝い金をいただいたおかげで、必要な物を全てそろえることが出来、中学生を送っています。本当にありがとうございました。（掲載可）

【中学校入学】親 制服など学用品やかばんなどとても高いので助かりました。ありがとうございました。中学生生活を頑張ります。親族も誰も助けてくれない環境にあるものにとって本当に感謝の一言に尽きます。福祉協議会なども日数がかかったりして借りることもできません。親も夫もなくなり頑張れるのは自分だけですが、体調も悪く不安な毎日の中子どもの成長のみを心の支えに生きている毎日です。そんな中、ほんとうにありがとうございます。頑張って幸せになれるよう生きていきます。希望を失わずに。（掲載可）

【中学校入学】子 部活は大好きな絵を描くために美術部に入りました。勉強は苦手な教科もありますが、頑張っています。中学生生活を楽しめるよう、勉強も部活も頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。親 入学や卒業のタイミングは分かっているものの毎月の生活費を賄うことでいっぱいになってしまい、なかなかまとまったお金を用意できないのが悩みです。今回長女の中学入学にお祝い金をいただき支給日も3月初旬と実際の入学費用に充てられてとても助かりました。ありがとうございました。（掲載可）

【中学校入学】子 制服とかお金かかるのをわかっていただけのお祝い金のおかげで買ってうれしかった。部活のお金に余裕ができた。ありがとうございました。親 制服の一部はおさがりをいただけたので購入は少なくすみました。体操着は兄のを使い必要なシャツだけ買いました。進学というのはとてもお金がかかります。公立といえど、自治体のお祝い金等のおかげで部活の費用もまかなうことができました。でも自治体の方の話をきくといろいろとプライバシーを傷つけられるくらいの質問もうけていつもおちこんでいますが、NPOの方々は親身になってくれます。自分も役に立つ仕事をしたいと思えるくらい感謝してます。（掲載可）

【中学校入学】**親** 子どもにはお祝い金のことは教えてないです。理由は全部、子どもにとられてしまうからです。大変助かりました。感謝しています。もっと早くにこの制度を知ってたらなあと思いました。ありがとうございました！（掲載可）

【中学校入学】**親** この様な制度が出来ていたのを知り、ワラをもすがる思いで申し込みました。**別居中も離婚してからも生活費や養育費が裁判で決まっても支払ってくれず困っていました。**全部自分で何とかするのはなく、このような形で助けていただいて、本当に感謝いたしております。ありがとうございました。

【中学校入学】**子** ありがとうございます。これからも頑張つて勉強行きます。**親** 義務教育で比較のお金はいかからないはずですが、入学してみるといろいろな面でお金がかかりお祝い金をいただくことができ本当に助かりました。ありがとうございました。**学校で購入するものに関しても本当に必要なのかと思うものがあり、もう少し、いろいろな面で家庭に配慮する内容だったら**と感じています。お祝い金のおかげで中学校の生活も普通にできることに感謝してます。（掲載可）

【中学校入学】**親** **部活の費用にまわせることができ、入部させることが可能になりました。**（掲載可）

【中学校入学】**子** **中学のための自転車を買う事が出来てよかった。****親** 日々の生活で大変で、特に制服や自転車というそれがないと学校に行くことができないものを揃えるのが大変です。この様なお祝い金で購入できるのはとても助かり、感謝しています。（掲載可）

【中学校入学】**親** 親として体調も良くなく、入学準備するにも不安でいっぱい、制服をどうしようか、学校に行かせてやれるか、不安もありましたが、皆様のおかげで準備もでき、子どもにも不安を与えることなく、入学させることができました。ありがとうございました。とても感謝しています。（掲載可）

【中学校入学】**子** ありがとうございます。大切に使います。**親** **入学の準備を安心して出来ました。入学後も、辞書やウィンドブレーカーや林間学校の旅費など入学準備に使ったほどの金額が2ヶ月の間に出費あり、お祝い金がなかったら、とても困った状況でした。**本当に、親子無事に中学校生活を送れてます。ありがとうございます。（掲載可）

【中学校入学】**子** 通学用のくつを買ってもらい、うれしかったそうです。姉がいるので、おさがりばかりで嫌だそうです。**親** お世話になっております。このたび、入学お祝い金を支給していただき本当にありがとうございました。感謝しております。今回、入学する子が2人おりまして、とても出費が多い中、支給していただき助かりました。**姉が中学を卒業したので、体操着や通学カバンなどは購入しなかったものがほとんどです。姉も、この子に使ってもらうために大切にカバンや体操着など使用してくれました。入学して陸上部に入部しました。ユニフォームやシューズなど購入しなければならないのですが、生活が苦しくても制度なども利用しながら娘が一生懸命部活に力を入れてくれるよう私もがんばりたいと思います。**（掲載可）

【中学校入学】**子** **お祝い金がもらえ、お母さんが喜んでいたので、良かったです。**ありがとうございます。**親** 入学お祝い金、大変助かりました。義務教育とは言え、細かい物を合わせると大金がかかりました。去年、長男が中学入学・再来年は次男が中学入学と続きますので、このような制度はとてもありがたいです。ひとり親ですと、金銭面で進学を諦めざるをえない事もあるので、是非継続していただけるとうれいす。今回は本当にありがとうございました。（掲載可）

【中学校入学】**子** **毎日、楽しく学校へ行っています。友人と一緒に柔道部に入りました。まだ始めたばかりですが頑張りたいです。****親** 子どもが楽しく学校を行ってくれ、朝練に行ったりする姿に安心しています。小学校とは違い子どもも大変だなあー、と思います。中学に入ると、準備にお金思った以上にかかり入学お祝い金にすごく感謝しております、有り難うございました。（掲載可）

【中学校入学】**親** 2人（小学・中学）とが重なったのでとても助かりました。ありがとうございました。（掲載不可）

【中学校入学】**子** お祝い金をいただいてありがとうございます。このご恩を忘れずに学校生活を頑張っていきたいと思います。**親** 中学校の入学で制服は3歳年上の兄のお下がりと思っておりましたが、制服の傷みがやはり激しく、着せるには可哀想かなと思っておりました。お祝い金をいただけることになったら、制服に使わせていただくこと決めていたので、新しいものを買ってあげることができました。いつもおさがりで我慢させていたので、新品の制服を着てうれしそうな顔を見た時、ホッとしました。本当にありがとうございました。（掲載可）

【中学校入学】**子** ありがとう、オリゴ糖、甘納豆、微糖。**親** 心から感謝いたします。（掲載可）

【中学校入学】**子** 他人の全くの関係のない人たちにいつも食べ物くれたりお菓子をもらいました。（母の補足：フードバンクの事だと思います。）とても感謝しています。ありがとうございます。3万円の半分は、中学の制服に使いました。とても助かります。お金をくれるのは、初めて知りとても驚きました。優しいそういう人たちのことを少しでも助けたいと思う気持ちがあるんですね。ありがとうございました。これからもよろしくお願いします。**親** 入学前就学援助金では賄い切れなかったので、入学お祝い金の3万円が本当に大きく助かりました。気持ちの面でも心配事が減り落ち着いて入学準備を進めることができました。皆様にご支援いただいていることを忘れずにこれからの育児や就労を頑張りたいと思います。（掲載可）

【中学校入学】**子** 自分が病気になった事で、母親が仕事ができなくなり、そのことを負い目に感じているようなこともありましたが、「頑張って体調を整えたり、病気に立ち向かっているから、助けてくれる人たちがいるんだね」と、助けてくださっている方々に感謝している様子でした。進学した学校は制服の指定がありません。その分、選ぶことができる喜びを感じていた中で、「自分の制服が、皆様のおかげで選ぶことができた」と喜んでいました。**親** 子どもの病気によって経済的に働くことが難しく苦しい中、偶然、養育費相談のために立ち寄った母子寡婦福祉連合会で、冊子を手に取りました。進学時期が近づくにつれ、大きな出費を前に働けていない状態から頭を悩ませていた所、このような大変ありがたいことを考えてくださる方々がいらっしゃることに感謝の気持ちで一杯です。厳しい時状況の方々も多数いらっしゃるにも関わらず、選考の上で対象にいただき、心が救われた思いでした。私どもが選考されたことで、対象になることができなかつた方には申し訳ないと思うと同時に、子どもの進学の費用にありがたく使わせていただきました。本当にありがとうございました。（掲載可）

「新しい制服を着られてうれしい」「私立高校に行くことになりたいへん」「合格できたときと同じくらいうれしかった」「高校に行く費用は30万円でした」「お祝い金のおかげで部活に入れた」

【高校入学】**子** 私立高校に行く事になったので、お金がかかることを心配していましたが、新入学お祝い金をいただいたことで本当に助かったと母が喜んでいました。私も感謝の気持ちでいっぱいです。**親** 公立高校が不合格で私立高校に行く事になったため、覚悟していたとはいえ本当に多額の費用がかかりました。介護のため就業できず節約の毎日です。心中、新入学お祝い金をいただいた事で、どれだけ助かったか…！私たちのことを見てくれている人もいるんだなと温かい気持ちになりました！学校の入学金の費用に充てさせていただいたのと、娘の大好きな食材でごちそうを用意し、家族で高校入学のお祝いしました。本当に感謝してもしきれません。ありがとうございました！（掲載可）

【高校入学】**親** 入学お祝い金をくださって本当にありがとうございました。高校入学で本当に思っていた以上にお金がかかってしまって困っていましたが、しんぐるまざあ・ふおーらむ様には本当に助けられました。見ず知らずの私の家に親切にしてくださり、本当に感謝しています。無事入学した娘も勉強に部活に忙しい毎日、頑張っています。本当にありがとうございます。私も頑張ります。（掲載可）

【高校入学】**子** 僕はこれから看護師を目指します。いろいろな教材費の金がかかるのだけど、それでこちらのお金を使わせてもらいました。ありがとうございます。**親** こちらのしんぐるまざあ・ふおーらむさんの新入学お祝い金というのがあると、市の子ども課の方からいろいろ調べていただき、こちらの応募させていただきました。抽選ということだったので、不安でいましたが、この度、この「新入学お祝い金」という、本当に助かる制度を知り、また、入学するにあたって、大変感謝の気持ち、お礼でいっぱいです。この度は、こちらの制度を使用させていただき、教科書に足りない分を助けていただきました。息子が「看護師」を目指すとのことで、子どもと一緒に頑張ります。この度はありがとうございました。（掲載可）

【高校入学】**子** ありがとうございます。**親** 子どもを学校に進学させるということは大変なことだと思います。高校入学にかかった金額は30万円、その他月々の授業料、諸費用、毎月、通帳とにらめっこです。4万円のお祝い金は制服を買う足しにしました。助かりました。ありがとうございます。（掲載可）

【高校入学】**子** 入学お祝い金を頂き、ありがたく感じています。高校でも将来に向けて勉強を頑張ります。**親** この度はお祝い金を頂き、ありがたく思っております。入学する際は何かとお金がかかり、このように寄付金を頂けると、少し気持ちに余裕が出来ます。本当にありがとうございました。（掲載可）

【高校入学】**子** このたびはありがとうございました。いただいたお金で母が用意してくれた制服など大切に使用したいと思います。**親** アンケートをいただき、良かったです。（お礼の電話を鳴らしましたが、皆が一斉に電話したら対応が大変と思ひ至り、すぐ切りました）多くの方々からの思いの詰まったお祝い金をいただきありがとうございます。なんとかようやく必要最低限ではありますが、既定の物品を揃えることが出来、新学期を過ごさせていただいております。奨学金などのお力もお借りしていますが、やはりそれらはやりくりしに組み込まれてしまい、入学の要項に記載のある金額だけではすまない時期にこのようなお祝い金を

いただき助かりました。何よりも、それをわかっていただいている方々がいる、お目にかかったこともない方が少しでも助けようと努力していただいていること、そのものが励みとなり力を得る思いがいたしました。（掲載可）

【高校入学】**子** 突然 40,000 円もいただいて、びっくりすると同時に、なぜ？誰から？もらっていいお金の？と疑問に思っていたようでした。説明したところ、世の中には見ず知らずの人に親切にしてくれる人たちがこんなにいるんだ…！とびっくりした様子でした。**親** 去年まで、しんぐるまざあず・ふおーらむの存在自体を知りませんでした。すみません。（シングルマザー一歴は 10 年近いのに…）ご案内をいただいて、半信半疑でした。きつものすごい倍率に違いないけれど、チャンスだから試しに…という気持ちで申請させていただきました。本当にいただけて、正直びっくりしています。40,000 円もいただいてしまってよいのかしらと思いがたありがたく頂戴いたしました。美術系高校に進学のため、画材など入学時に必要なものがたくさんありましたので、それに充てさせていただきました。ありがとうございました。それにしても、これだけの資金を集める力、すごいです。たくさんの母子家庭に毎年、お祝い金を渡されていると後になって知りました。運営されている方々のお力あってのことだと思います。感謝いたします。（掲載可）

【高校入学】**子** ありがとうございます。**親** 中高一貫校に通っていたものの、先生や友達とのトラブルから不登校となりました。リストカットをくり返し、適応障害と診断されました。本人の希望もあり高校はヘアメイクを学べ、美容師免許も取得でき、通信制で高校卒業資格の取れる学校へ進学しました。学費は高く、ひとり親の家庭では不相当でしたが将来ヘアメイクの仕事に就きたいと前向きになった娘のため、無理をしました。入学お祝い金はとてもありがたかったです。どうもありがとうございました。（掲載可）

【高校入学】**子** 新しい制服を初めて着ました。とてもうれしいです。今までずっと不登校でしたが、毎日楽しく登校し、友達もできました。ありがとうございます。たくさんの事をこれから学び、社会に出て役に立つ人になりたいです。**親** 今回はお金を借りず、娘を進学させることができました。初めは不登校で中学 3 年間は登校していなかったため、入学できる高校は無いと諦めて就職を検討していましたが、不登校用の高校説明会で私立高校の寮生になると希望を持った娘の夢を実現するために、いろいろな制度（お金を借りるため）を探し、奨学金を申請したり、母子家庭用の貸付を検討しているところで、こちらのまざあずふおーらむさんの事を知りました。私立は不合格になりましたが、定時制も頑張って受験し合格はしましたが、専門的な事を学ぶ学校でいろいろとお金がかかりましたが、まざあずふおーらむさんの準備金のおかげ様で入学式までに制服が買えました。ありがとうございます！！（掲載可）

【高校入学】**子** 母が病気になり受験できるか不安でしたが援助していただいて進学できています。ありがとうございます。**親** 入学の際に必要な細かいもの（ソックス、ローファー、下着、肌着）などにも使用させていただきました。ありがとうございました。（掲載可）

【高校入学】**子** ありがとうございます。僕もこれから勉強や部活を頑張りたいと思います。**親** 今までいろいろなところに申請しても、支給されたり申請が通ることは、世帯別の同居する自分の親、弟がいるのでありませんでした。今回本当にありがたく初めてこのような形で支給していただき感謝します。ありがとうございました。（掲載可）

【高校入学】**親** 高校入学のための制服がとても高くて、8 万ぐらいかかりました。4 万いただき、とても助かりました。ありがとうございました。（掲載可）

【高校入学】**子** （長男には、お祝い金のことは話しておりません。家計のこと、私のことをとても心配してくれる長男で、もし私立になった時は、就職すると言ってくれていました。今は、元気に楽しく通学しております。本当に感謝しております。）**親** この度、お祝い金を頂き、大切にに使わせていただきました。申し込んだ時には、ダメもとで…という気持ちだったので、案内文書が届いた時には、とてもビックリし、そし

て、とても助かった！と心の底から喜びました。長男は県立高校はムリかも…私立になったらどうしようと悩んでいましたが、なんとか合格。けれども専門学校（農業高校）だったこともあり、実習服など事前に購入しなければいけませんでした。そんな時にお祝い金を頂いたので、本当にうれしかったです。このような活動をしてくださっている方々、寄付をしてくださった方々に心からお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。（掲載可）

【高校入学】子 役に立ちました。ありがとうございました。親 入学お祝い金を頂きましてありがとうございました。高校に進学した時にすぐに授業料と制服代と雑費（教科書代、体操着など）を含めて20万円ぐらいかかりました。お金はわずかですが親族の方から少し貸してもらいました。入学お祝い金を頂いた時、本当に涙が出ました。とても助かりました。授業料の支払いが先にやらないとせっかく高校に合格ができたのに、保護者の経済能力が悪いため子どもの進学に見送りになったら親の責任が大きいと思いました。みなさまのご厚意で入学お祝い金は我が家にとってすごく役に立ちました。ありがとうございました。（掲載可）

【高校入学】子 ありがとうございました。親 全てを新品にとはいかず、制服、体操着の一部はおさがりや、NAME外しを自分で行い、2万円まで下げた。部活はどうしても買いそろえる必要にかられ、卒業生の使用していたバッグ（1万円越え）を譲り受け、NAME外しを自分で行うことで4万円まで下げた。スポーツブラや生理用品（パンツ）などはこれから買い揃えていきたい。（掲載可）

【高校入学】子 私は4月に入学してから楽しい学校生活を送っています。二年生からは看護コースに進んで人の役に立てるように頑張りたいと思います。親 この度は、私達、親子にたくさんのお祝い金を頂きまして、ありがとうございました。感謝いたします。娘が毎日、高校に通うために自転車を買わせていただきました。子どもたちは家に新しい自転車 came と大喜びでした。私、一人ではなかなか買う事が出来ない、あきらめていました。辛い事が多く大変だと思う毎日ですが、必ずがんばっていたら幸せが来るのだと思い、自分と娘をはげまし合い、生きて行きます。 本当にありがとうございました。（掲載可）

【高校入学】子 （代筆いたします。本人はこのような支援を受けていることはお友達には言いたくないようです。皆と同じ生活レベルとして接してもらいたい、という理由からです。しかしながら、実際は心の中ではとても助かったことは事実なので感謝しているようです）親 私としましては、このような支援を受けられたことが、金額もさることながら、気持ちの面でとても希望になり、支えとなります。孤独こそ最大の苦しみだと思っているので誰かに気にかけてもらえることがどれ程ありがたく、生きる希望になるかわかりません。親子で手と手を取り合い助け合うことが時に思春期を迎えた娘とできないこともあり、精神的にきつく思う時もあるのが現実です。子どもを支えることと、自分を支えること、両立する中で希望と絶望が入り混じる現実の中で、希望の光そのもののお祝い金となりました。 本当にありがとうございました。（掲載可）

【高校入学】子 家のことや、PTA活動、地域の活動で眠る時間も少なく、頑張っている母。もうこれ以上働いて稼ぐのが難しい時に、このような企画を知り、もしかしたらもらえてお母さんに喜んでもらえる！少しでも楽させられるとうれしくなりました。実際、高校入学は意外とお金がかかり、いただいたお祝い金のおかげで助かり、本当にありがたかったです。親 仕事を掛け持ちで2つやっていますが、両親の介護や下の子達のお世話もあり、生活がいっぱいいっぱいでした。高校は就学支援金があるから、負担は少ないかと思っていましたが、実際、教科書代やシューズ、体操着、制服、また進学コースに入学しているため別のテキスト代などや、PTA会費、あと毎日のお弁当にお金がかかり、バス代まで賄うのが大変で、約45分、毎日歩いて登校してもらっています。（長い坂道、沖縄の直射日光を浴びて汗だく登校。）このような寄付で家計が幾分助かり、特に物入りな4月にものすごく助かりました。本当にありがたかったです。（掲載可）

【高校入学】子 入学お祝い金をお送りいただきありがとうございました。いただいたお金で早速教材や制服などを購入させていただきました。このお祝い金で新しい学校生活を送れることに本当に感謝しています。

親 入学お祝い金、本当にありがとうございました。双子なのでとても助かりました。双子の上に2つ違いの兄もいるので今年は3人も高校生になるので、大変だったので、当たった通知を見てとてもうれしかったです。このお祝い金で制服やバッグなどに使わせてもらいました。大切にしたいと思います。教えていただいたNPO法人ビーンズの先生、NPO法人しんぐるまざあず・ふおーらむ様、ありがとうございました。（掲載可）

【高校入学】**子** 母が高校の入学金になったと言っていました。本当に助かりました。ありがとうございました。**親** この度は、お祝い金をいただきまして本当にありがとうございました。私は現在、母子父子自立支援員として勤務しております。自身もひとり親として生活しながら悩み苦しむ母子・父子の皆さんに少しでも寄り添える相談員を目指して学ぶ毎日です。ですが、委託職員としての採用ですので、月給も低く契約任期も5年と決まっていますので、厳しい現実です。今は別れた夫からの養育費や児童扶養手当と福祉医療給付もあり、なんとか家計をまわしていますが、上記の収入がなくなってしまった時のことも想定して今から準備をしなければ…と情報収入を日々しています。私の居住地のひとり親の皆様からのいろいろな声を耳にするに当たり、もっと何か私にできることはないのか？…と日々自問自答し、ひとり親、母子の皆様のためにできる活動を個人的に発信したり、行っていきたいと考えています。痛みを持っているからこそ分かる事、出来る事があると思います。しんぐるまざあず・ふおーらむのスタッフの皆様の日々の活動に感謝を申し上げ、皆様のように小さな事から始めていきたいと思っています。ありがとうございました。（掲載可）

「貧困の連鎖から脱出して1人でも多くの人の幸せに寄与したい」

「私共にもお祝いしてくれる所があるんだ」「子どもにきちんとしたスーツを買ってやれた」「4年間望んだ勉強に打ち込めるうれしさをかみしめています」

【大学入学】**子** ふつうのお店で服を買うことはこれまでなかったので、式服はバザーで用意した（それしかサイズがなかった）ミニスカートのつもりでした。しかし、母が実習用（医学部の病院研修）にはパンツスーツで汗もかくので2着は必要と言って何件も店に連れて行ってくれました。家計が気になり心配でしたがお祝い金をあてましようとして聞いてホッとしました。ここまで何度も支えてくださって、本当にありがとうございます。すでに授業が忙しくバイトができませんが、勉強で頑張ります。**親** 振り返ってみて高校入学時にもお祝い金をいただいて感激し、励まされました。同時に家族だけでやりくりしていた存在が社会的な存在になった責任を感じるようになり、娘を一段と成長させていただいたように思います。あたたかな関わりこそ人を癒し、成長させることを実感し、心から感謝申し上げます。お祝い金事業が有り難くも公立中高一貫の弟は申し込めず残念でした（4年進級時、入学金はかかります）。公立校の進学指導は「受験費用は150万（最低）」国公立、現役の場合。”資金が無ければ進学はあり得ません”という我が家で、子ども達が暗く打ちのめされる危機を乗り越えらのは様々に支援につながる事ができたお陰とつくづく思います。（掲載可）

【大学入学】**親** 区役所に行った時に知りました。今年度、長男大学入学、次男高校入学でとてもお金がかかりました。新入学お祝い金で大学の教材を買わせていただき大変助かりました。ありがとうございました。（掲載可）

【大学入学】**子** お祝い金ありがとうございました。6年間勉強に頑張りたいと思います。**親** 母子家庭で私立薬学部にどうしても入って学びたいと言われ、先は見えませんが、少し見切り発車的に入学はできましたが、6年間貸付のみでは半分しか出ないので、不安はあります。なんとか卒業までの学費を稼ごうと掛け持ちをしております。お祝い金ありがとうございました。（掲載可）

【大学入学】**子** （遠方の為、母代筆 メールより）この度はありがとうございました。家庭事情で地元国立しか選択肢のない自分でしたが、夢を叶えるため東京の私立大学へ進学、ようやく生活にも慣れてきました。母の経済事情は十分理解していましたが、それでも東京の私立という道を選んだのは勉強して夢を叶え世に言う「貧困の連鎖」から脱出しなければと考えたからです。そして社会の諸問題を解決すること、1人でも多くの人の幸せに寄与したいという目標のために頑張りたいと思います。**親** 進学どころか日々の生活でも支払いが滞りがちで現在、非常に困窮しております。2人の息子の進学に関しても、なりふりかまわずお金を工面したものの、やはり額面どおりでは済まない、目にみえないお金がかさみ、苦勞しておりました。そんな時に、ネットで貴団体の活動を知る機会があり、ありがたくもお祝い金をいただける運びとなりました。まさに名前のお通り、お祝いしていただけた感じです。ずっと重くのしかかっていたお金の悩みを、ほっと楽に軽くしていただけたことで「私にも味方がいるんだ」とじわっとなりました。今はまた生活の立て

直しに人様のお力を借りるしかない自分ですが、私も出来ることから困っている方の助けとなりたいと思いました。（掲載可）

【大学入学】**子** 入学時は特に教科書代、パソコン代など諸々の出費が多く困っていましたが、3万円の給付をいただいたことで、だいぶ負担が減り、助かりました。このような活動のおかげで私のように助けられる子どもたちが増え、子どもたち1人1人の未来の選択肢が広がっていけば良いな、と思います。ありがとうございました。**親** お祝い金をいただけると知った時は、とてもうれしかったです。**給付奨学金の申請を時間をかけて資料を作成し行いましたが、申込者が多数いたとの事で通りませんでした。**現状厳しいものだと実感しました。大学進学に伴い、予定していたより多くの資金を入学時収めました。**30,000円は学校指定のパソコン代に使わせていただきました。**本当にどうもありがとうございます。金銭面ではお役には立てませんが、困っている方のお力になれる事があれば私達親子で力を尽くしたいと思っています。（掲載可）

【大学入学】**子**（娘からは代筆で、以下のようなことをお願いされました。）**たくさんの方の応援があったと知ってうれしくなりました。新しい学校で多くのチャレンジをしていきたいと思っています。ありがとうございました。****親** 卒業、入学は本来なら子どもの成長を祝う喜ばしい節目となるものです。ただ、経済的に苦しいひとり親家庭であると、それにかかる費用を捻出するのに頭を悩ませます。子どもにはその苦勞を見せたくないと思いつながら、ふだんの暮らしの中で、我慢をさせているのかもしれない。この状況での**お祝い金は、親以外にも祝福をしてくださる形を頂けて、本当に感謝です。**有難うございました！！（掲載可）

【大学入学】**親** とても助かりました。感謝しています。大学の入学金がとても高いです。最初は私立大の20万払ってまた国立の入学金28万も払いました。入学金だけで48万払いました。学費もかかるし、課料書も買わないといけないし、結構お金がかかりました。いただいたお金がとても助かりました。ありがとうございました。（掲載可）

【大学入学】**子** 今回大学入学するにあたって予想外の出費が多くあり、とても助かりました。このような制度があるとひとり親家庭の子どもはとても助かると思います。ありがとうございました。**親** 中学生の頃から大学進学を目指して頑張っていたので、**私も毎月わずかながら貯金をしておりましたが実際、大学に受かってから急に言われる予定外の費用も多く大変困っておりました。**（例：パソコンは大学指定なので割高。学生自治会費12,000円、同窓会費30,000円、大学生協の保険や出資金61,200円など）今回、**無事大学生生活の準備ができました。本当にありがとうございます。**（掲載可）

【大学入学】**子**（娘は地方の大学に進学しましたので、娘の気持ちを代筆させていただきます。）入学お祝い金をいただきありがとうございます。大学進学にあたってたくさんのお金がかかり自分なりにアルバイトをして家計を助けましたが、本当にいただいたお祝い金、とても助かり感謝しております。**親** 受験生チャレンジ支援の手続きをしに福祉協議会を訪ねた時、担当のケースワーカーの方が今週末締め切りなのだけど種類準備して出してみても教えてくれました。ダメもとで申請させていただきました。**ことごとく民間の奨学金制度に落ちて、とても暗い気持ちになっていました。母子家庭で大学進学させることは本当に大変でした。正社員で働いていますが、去年は残業の日々。娘も受験勉強の合間にアルバイトもしてくれました。**そこへ元夫ががん宣告を受け闘病生活に入り養育費ももらえず、逆に元夫も見捨てるわけにもいかず、元夫の生活費、病院代まで工面することになり、なんでこんな生活にも思っていました、子どもたちと頑張つて長女の入学式を迎えることができました。入学お祝い金をいただいた時は本当にうれしかったです。一人でも多くの母子家庭の子どもたちが進学できる社会になってほしいと思っています。（掲載可）

「登校用のスーツを購入した」「冷蔵庫を買い自炊します」

「一生懸命がんばります」

【専門学校など】**子** 一人暮らしをすることとなり、実家にあるものを工夫して生活していく予定でしたが、しんぐるまざあず・ふぉーらむさんからのお祝い金で部屋に冷蔵庫を置くことができました。調理を学ぶ学校に進学したのでとてもうれしいです。アルバイトを2年契約し住むところはアルバイト先で用意してくださいました。社会保険に加入し学校とアルバイトと自炊しています。**親** 子どもが学びたいものを学びたい形で学べていることに深く感謝しております。貴団体からの温かいお祝い金のおかげで本当なら買えなかった冷蔵庫のサイズに余裕のある冷蔵庫を購入できたことで日々の生活を充実できていると思います。誠にありがとうございました。（掲載可）

【専門学校など】**子** 奨学金を利用して制服代に回すことができました。助かりました。ありがとうございました。**親** 給付型の奨学金が増えたことで、とても助かります。今後も子どもたちのためにもっと多くの世帯が活用できる給付型奨学金を増やしてほしいです。（掲載可）

【専門学校など】**子** 寄付金ありがとうございます。これからもっと勉強頑張ります。**親** 寄付金・雪中送炭ありがとうございます。4人家族、いろいろなことが大変です。だから、全員は楽しいです。一生懸命頑張ります。（掲載可）

新入学お祝い金を受給した世帯の状況と新入学時の困難

「わたしたちをお祝いしてくれる人がいる」

赤石 千衣子

新入学お祝い金を受け取った世帯は、ひとり親世帯の中でも特に困窮している世帯であることは、事後調査からも明らかになった。

- 就労状況の非正規比率が高く就労状況が不安定である。
- 就労収入の平均は 153 万円で全国ひとり親世帯等調査の母子の平均就労収入 200 万円よりも低かった。
- 子どもの人数が多い分収入が多く必要なのに、収入が少ない。
- 保護者の健康状態も「よくない」と「あまりよくない」割合が 3 割を超えている。
- 子どもの入学時の費用（平均小学校 93,841 円、中学校 125,564 円、高校 309,023 円、大学 936,719 円、専門学校 791,981 万円）を負担することは至難である。
- 新入学お祝い金と入学準備金の前倒し支給により準備ができた世帯も多かったと推測されるが、高校入学の準備はさらに困難である。
- 新入学お祝い金により安心感を提供し孤立感の解消ができた。
- 児童扶養手当の所得制限が就労調整を起こしている。
- 別居中のひとり親世帯に公的支援が届かないことで困窮を招いている。
- 児童扶養手当の隔月支給を歓迎する声が高かった。
- 貸付金制度の利用が低い。

はじめに

2015 年度に新入学お祝い金事業に取り組み始めてからこれまでに、約 1531 人の子どもたちに新入学お祝い金を送金してきた。これまでご寄付をくださった寄付者のみなさんには感謝とともに、そのご寄付により、多くの子どもたちが無事に教育を受けられてきたことを伝えたい。

新入学お祝い金事業を始めたのは、ひとり親家庭における、中学高校に入学するときの越えがたい困難を知っていたからである。

特に 2014 年 9 月 24 日に千葉県銚子市の県営住宅に住む母子世帯で起こった事件は、借金のあるギリギリの生活の母子世帯にとって中学入学時の 15 万円程度のお金の準備がいかに大変かを知らしめた。この費用が出せないために闇金から借金した母親は県営住宅家賃を滞納し、住宅から立ち退きの日に大事にしていた娘に手をかけるということになったのであった。

こうした犠牲を教訓にして、わたしたちしんぐるまぎあず・ふぉーらむは、ひとり親世帯が子どもの新入学時に抱える困難を解消し、ひとり親に寄り添い、子どもの学びを応援したいという意図でこの新入学お祝い金事業を行ってきた。

1、 新入学お祝い金を受け取った世帯は

新入学お祝い金を受け取った世帯は、ひとり親に支給される児童扶養手当全部支給の世帯、および、それに準ずる経済的な困難な世帯とそのほかの事情を考慮したものである。

児童扶養手当の全部支給を基準としたのは、児童扶養手当の所得制限にはある程度の客観的な指標となりうるだろうということ、子ども的人数による所得制限の増額にはこれもある程度の根拠があるだろうということ、そして児童扶養手当証書のコピーの提出により選考が客観的にできることなどを理由としている。

2018年度から全部支給の所得制限が年収ベースで130万円から160万円に上がり、それを基準とした。2018年からの所得制限をここに掲げる。

児童扶養手当の所得制限限度額表（2019年10月現在）

扶養親族の数	全部支給の所得制限 (収入ベース) (円)	全部支給の所得制限 (円)
0人	1,220,000	190,000
1人	1,600,000	570,000
2人	2,157,000	950,000
3人	2,700,000	1,330,000
4人	3,763,000	1,710,000

子どもが1人いるひとり親の所得（年収）が160万円であるというのは、日々の生活としてもギリギリの生活である。子ども2人で215万7000円というのもギリギリの生活である。入学時の支出を捻出するのは非常に困難であろうと想像できる。であるので、この基準以下で生活しているひとり親世帯に支援することとした。

しかしそれだけでなく、多子世帯であることや親や子どもの障害を考慮した基準、あるいは収入の激変にも対応することとした。（6ページ参照）

世帯類型をみると、母子世帯が多く、また親子のみで生活しているひとり親世帯が84.2%を占め、親族支援がない世帯が多いと思われた。実際に「親から応援してもらえない私たちのことを支えてくれる人たちがいるのだ」という感想を書いてきた受給者（親）がいる。

ひとり親になった理由は、離婚が84.8%、死別が5.3%、非婚・未婚が5.2%で、別居によるひとり親（離婚が未成立）は4.2%であった。やや全国調査よりも離婚が多いという印象である。

またその他の困難な事情として「多子」「複数応募」（＝きょうだいが中学と高校などに同時に進学する場合の応募）を優先的に受給とし子ども的人数分を送金したため、子ども的人数は3人、4人という世帯も多く、平均の子ども的人数は2.13人で、全国調査の平均1.56人に比較すると世帯あたり0.5人ほど多いことが分かった。

また小学校、中学校、高校、大学等に入学時のお祝い金を送ったが、人数は高校が4割と多かった。高校の入学準備に困難を感じる世帯が多いことを物語っていると思われる。

2、 就業形態と就労収入

新入学お祝い金受給世帯の親の就労状況はというと、就業している人が81.4%であり、全国調査の81.8%とほぼ同レベルの就業率である。しかし正規社員の比率は就業しているもののうち19.0%で全国調査の44.2%の半分以下であり、契約社員・派遣社員(21.0%)、パートアルバイト(56.4%)など非正規の働き方が多い。また正規社員の就労収入の平均が225万円であり、全国調査の305万円よりも大幅に下回り、正社員とはいえパート並みの低収入で働いている人が多いことがわかる。一方パート・アルバイトで働いている人の年間平均就労収入は124万円であり、全国調査の133万円よりやや低かった。また自営業(フリーランス)の就業収入は平均48万8000円でたいへん低かった。雇用の場で働くことがむずかしい要因をもっている世帯のひとり親、あるいはまた起業したものの経営がうまくいっていないなどの状況もあると思われる。

つまり新入学お祝い金事業の受給世帯は正規社員比率が低く、より不安定な仕事をしており、正規社員であっても就労収入は低く、周縁的な正社員であることがうかがわれた。その結果、全体の年間平均就労収入は約153万7000円と低かった。こうした就労収入と手当などで子ども2.13人を育て、家族3人で暮らしている、それが新入学お祝い金の受給世帯の平均的な像ということになる。

卒業、入学は本来なら子どもの成長を祝う喜ばしい節目となるものです。ただ、経済的に苦しいひとり親家庭であると、それにかかる費用を捻出するのに頭を悩ませます。子どもにはその苦勞を見せたくないと思いつつも、ふだんの暮らしの中で、我慢をさせているのかもしれない。この状況でのお祝い金は、親以外にも祝福をしてくださる形を頂けて、本当に感謝です。有難うございました!!(大学入学)

この新入学お祝い金事業で把握する就労収入は、源泉徴収票のコピーの提出を条件とし、無理な場合には、給与明細の最近3カ月分、あるいは通帳のコピーなどを証明書類として提出してもらっている。このため、かなり正確な数字を把握していると考えられる。

世帯収入については手当や年金のほか、養育費について尋ね、世帯収入に加えた数字を出している。世帯収入の平均は212万円であり、全国調査の平均収入額243万円よりも低い。

養育費を受給している割合は全体で19.1%であり、全国調査24.3%よりも5ポイント低いが大差というわけではなかったが、それでも養育費を受給できていない世帯が多かった。

インタビューをしたYさんは高校生、中学生、小学生2人がいる母子世帯であるが、2年前から養育費が途絶え、そのことで生活困難に拍車をかけていたし、もし養育費が支払われていれば、若干の余裕があったのではないかと推測できる。

現在の養育費の制度では調停調書、公正証書など債務名義をもっていたとしても、その元夫の勤務先や預金口座などが不明であると差押えが困難であり、2020年4月からの改正民事執行法の施行により、勤務先情報や口座情報の開示が進むことが期待されている。しかし、そうであっても時間のない母子がその手続きをすることにもハードルがあると推測され、兵庫県明石市が検討しているような養育費についての手続き支援などさらなる援助が必要と思われる。

新入学お祝い金事業では、多子世帯については児童扶養手当の受給基準以上に考慮した結果、受給世帯の子どもの人数は全国調査よりも多く、子どもが3人、4人の世帯もかなりいた。子どもが3人以上の世帯では、そもそも生活がギリギリで困難に遭いやすく、また学校の準備も難しいことがわかる。

3、 預貯金ゼロが 23.1%

新入学お祝い金受給者に現在の預貯金額を聞いたところ、23.1%が貯金ゼロ円と回答し、5万円未満が9.3%であった。

預貯金額	人	%	累積%
0円	107	23.1%	23.1%
5万円未満	43	9.3%	32.4%
5万円以上 10万円未満	31	6.7%	39.1%
10万円以上 20万円未満	58	12.5%	51.6%
20万円以上 30万円未満	23	5.0%	56.6%
30万円以上 50万円未満	44	9.5%	66.1%
50万円以上 100万円未満	56	12.1%	78.2%
100万円以上	83	17.9%	96.1%
無回答	18	3.9%	100.0%
計	463	100.0%	

小学校入学時の平均費用が9.4万円、中学校入学時の平均費用が12.6万円、高校入学時の平均費用が30.9万円であったことからみると、小学校入学時に手持ちのお金で対処できない世帯が3分の1、中学入学時に対処できない世帯が4割、高校入学時には約6割が対処できないことになる。

こうした世帯に対し、小学校中学校入学時には、就学援助の入学準備金を支給し、その基準額も上がる傾向にある（例 さいたま市 小学校入学予定者40600円、小学6年生47400円を11月に認定されている入学予定者には1月末に振り込む）ことは歓迎したいが、まだYさんの居住自治体のように前倒し支給がない自治体もあるので、全国での実施を望みたい。

預貯金ゼロということはわずかな急な出費でも対応できなくなることを意味する。それは滞納や借金で対処するしかない。

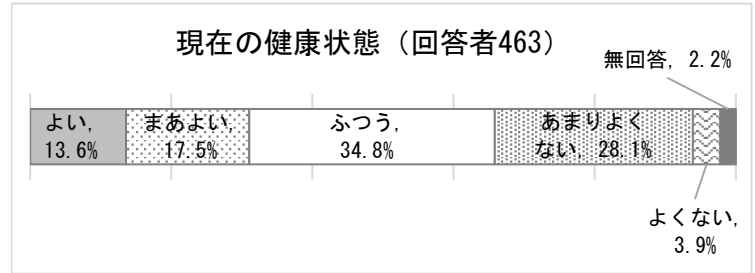
滞納は精神的にもダメージを与える。

預貯金ゼロの世帯にとってはそれ以外の費用を捻出することは困難であり、新入学お祝い金を3万円あるいは4万円を受給することだけでは解決しない額だが、ひとつの支援となっている。

また低所得世帯の高校生の教材費等を援助する、高校奨学給付金の支給が夏以降になっている自治体が多い。蓄えがある世帯は、こうした家計の支出を後から補填することで支援となるかもしれないが、預貯金ゼロの世帯にとっては、必要時期の前に入金がなければ支援とならない。高校奨学給付金についても、増額とともに前倒し支給となることと切望される。

4、 保護者の健康

この新入学お祝い金事業においては、健康状態が悪化したことで働けなくなり、生活が苦しい世帯が多いことが目についた。そこで、健康状態と健診の有無を聞いた。まず現在の健康状態であるが、よいと答えた人が14%などであった。〈よくない〉と答えた人、〈あまり



よくない〉と答えた人は約32%であった。全国ひとり親世帯等調査では、ひとり親の健康状態については聞いていない。日本労働研究研修機構の「第5回子育て世帯全国調査」では、母子世帯の母親の21.8%は〈健康状態が（あまり）よくない〉と回答している。

https://www.jil.go.jp/institute/research/2017/documents/175_01.pdf この調査結果と比較しても、健康状態が悪い人の割合は高い。

その148人にその病気や体調不良の原因について聞いた。

うつや双極性障害、統合失調症、あるいは心身の状況がよくないパニック障害などの症状は〈よくない〉18人のうち半数の9人であった。

そのほか身体的な病気として甲状腺機能低下症、乳がん、椎間板ヘルニア、気管支炎などがあつた。

〈あまりよくない〉130人も精神的な病気と心身的な症状の人が非常に多く、そのほかに乳がん、腎臓がんなどのがん、めまいやメニエール病、ぜんそくなどの呼吸器系、貧血、慢性頭痛などとともに、糖尿病などの成人病もあつた。

がんと答えた回答者は調査以前にがんになり患し、失業・休職などの結果、減収しているという状況かと思われる。

〈あまりよくない〉という内容は〈よくない〉内容とあまり変わらず、「めまい、頭痛、肩こり、腰痛」「ぜんそく、メニエール」など複数の訴えもあり、この〈よくない〉〈あまりよくない〉人も多くが働いていた（就労率は71.6%）。健康状態のよくないからだを引きずりながら、子どもと自分の暮らしを支えるために7割以上が働いており、しかもその仕事の内容は不安定で収入もよくないという状況が見えてくる。

また〈あまりよくない〉ところに睡眠時間が少ない、疲労がたまっているなどの回答があり、収入を得るために就労し、家事育児もひとりで担い疲労困憊している様子が見えてきた。

健診受診の有無を聞いたが、健診を受けている人は74.7%であり、受けたことがない24.4%であった。健診を受けなかった理由としては「費用がかかるから」58%、「時間が取れなかったから」35%が多く、健診のチャンスを増やす支援も必要だと思われた。

それと同時に、健康状態への影響として自由記述から推測できることは、慢性的な疲労が溜まり、病気があっても仕事をし続けている保護者の状況では、休養を取ることが必要でありそうだ。

「毎日の様に残業続きで平均12時間は勤務していて休日にも疲れすぎて体が痛んで寝たいが、家事がたくさんで寝てもいられない。高血圧で病院にも行けてないので、ぜひお休みをいただいて病院に行きたいと思う。転職考えている。」

離婚手続きや調停などと同時に生活の激変し、ひとりで生活を維持する責任から、ひとり親の親が様々な体調不良〈未病〉状態に置かれていること、そのためにひとたび〈病気〉という状態になれば、収入が減少し、生活費や入学時の費用捻出に困るという状況が見えてくる。

- ・高血圧症（ストレスを溜めないように医師に言われている）。長かった調停が成立した（2年以上かかっていた）かなりのストレスだった）また持病があるために就労を制限しているために、収入が少ない人も当然いる。
- ・甲状腺炎や肝炎などの持病があり、無理ができないので適度なペースで働いている

5、 子どもの病気障害

子どもの病気障害についても配慮をしたが、子どもの障害の特性による困難が自由記述からうかがえた。

重度の自閉症ですので、まだおむつがとれず、サイズも大きいので1か月かなり出費あります。1つ1つこだわりがあり、何に関しても試してダメなら買い替えなければいけなかったり、何かとお金はかかります。

インタビューではOさんの子どもも片頭痛があり、Yさんの子ども4人中2人がぜんそくで病院通いをしていた。毎週病院に通うことは親にとっても負担が大きく、仕事、子育て、家事、のほかに土曜日に通院、そしてダブルワークをしており、医療費の補助ではかなり助かっているものの、時間的には圧迫されることになると思われた。

6、 児童扶養手当などの公的支援からはずれている人

児童扶養手当を受けていないがひとり親世帯として新入学お祝い金を受給した世帯は71世帯、15.3%であった。

そのうち、別居中のものは19世帯であった。そのほかは推測になるが、死別による遺族年金の受給が29世帯、親族同居による支給停止、障害年金による支給停止などが含まれていたと思われる。

別居中の世帯からの声を聴こう。

夫からのDVのため、平成29年に子ども2人を連れて家を出、別居しています。すぐに離婚調停を行いました。全く話し合いにならず、何も決まらず、不成立に終わりました。養育費等ももらえず、籍を抜けないため、公的援助を受けられません。今年3月からパートで働き始めましたが、収入は月5～6万ほどで貯金を切り崩しながら生活しています。子ども2人も私も体が弱く、体調を崩さないように注意しながら暮らしています。経済的にも精神的にも苦しいので、本当にありがたいです。感謝しています。

DVで夫から逃げ自力だけで子どもと二人で別居して1年半ほど。調停不成立、夫が合意せず離婚成立しない為、母子家庭としての支援が受けられません。当然、区役所には相談していますが児童手当すら（児扶手ではないです。もちろん申請できません）切り替えてもらえずにいます。夫の所得が高く同一世帯（扶養も抜いてもらえません）扱いで、小児医療証もありません。子どもの親権を主張しながら誕生日、クリスマス

マス、入学何ひとつ夫からお祝いはありません。（夫の父からも）子どもの入学を祝ってくれる人がいるのだと子どもに伝えられたことがうれしかったです。（小学校入学）

当団体では、公的な援助が届かないひとり親世帯とその子どもたちに対しても、お祝い金を送るのは当然と考え、住民票そのほか裁判の書類からひとり親世帯であることを証明してもらった。

そして上の記述の2番目の世帯は、父親が扶養からはずさないで子ども医療費助成の対象にならず、児童手当すらもらえていなかった。またお子さんは発達障害をもち、療育センターにも通っていた。別居は2年続いている。行政からの支援は一切ないということである。

DV被害者が加害者である夫に知られたくないために住民票を異動しないことはよくある。なぜなら、住所を秘匿する支援措置については、職員の過誤により、夫側に開示してしまうことがあるからである。住民票を異動していない場合に同一世帯とみなし、公的サービスを受給する際の所得制限を夫の収入で出すことでひとり親世帯が苦しんでいる。児童扶養手当の支給についてもであるが、もっと細かい制度において、自治体が利用者の状況に合わせた対応が望まれる。

7、 そのほかの特徴

親族同居の世帯は少なかったが、介護を心配する声はかなり聞かれた。

また、保護者の疾患のため申請書が書けない状況と思われる子どもの立場から応募した書類を見ることもあった。

以上、新入学お祝い金2019に応募したひとり親世帯がどんな特徴をもっているのかということ伝えた。そうは言っても必ずしも「最も」困窮しているひとり親世帯の実態を明らかにする、ということにはならない。なぜなら①受給世帯は自治体に相談して紹介されて応募する、②自分で調べて応募する、あるいは③しんぐるまざあず・ふぉーらむや姉妹団体の会員登録を申し込むなどの能動的な行動をした結果応募したわけであるからだ。より困難な世帯の中にはこうした「受援力」すら持っていなかった世帯もあるだろうと推測できる。

しかし、それでも、新入学お祝い金を受け取った世帯の困難度は高く、非常に低所得である世帯が多かったことは事実である。

8、 児童扶養手当の所得制限と支給回数

① 児童扶養手当の所得制限限度額が（年収ベースで）130万円から160万円へ引き上げられたことについて受給世帯に聞いたところ、「知っている」と答えた人は124人32.2%であり、知らなかったが67%に上った。所得制限が上がったのは2018年度であるから、認知度はそれほど高くなかった。しかし、平均で就労収入が153万円のこの層にとっては大きな関心事のほうでもある。

これを質問票に入れたのは、全国で母子家庭の母の相談の中で「収入が上がって手当を満額もらえないと損だ」と思っているひとり親が多いことだった。特に地方都市でそういうひとり親によく出会った。実際には、収入が上がるにつれて児童扶養手当の支給額が下がるものの、手当と収入の合計は少しずつ上がるように制度設計されているので、「損」はしない。しかし、多くの人がそう思ってそこで就労を調整しているのではないか、ということと、所得制限を上げるとどう就労意欲が変わるのかを知りたかった。

次に「所得制限限度額が上がったことで就労収入を増やしたいか」（28 ページ）と聞いたところ、「所得制限限度額が上がったので就労収入を増やしたい」22.3%、であった。

このことから言えることは所得制限を上げることが、就労意欲を増す結果になり、ある程度の就労年収の向上も見込まれるということである。また所得制限限度額が上がったこととは関係なく就労収入を増やしたいという人が65%、であった。

実際にインタビューしたOさんは就労調整を行っており、「所得制限が上がったのなら、もうちょっと働きたい」と答えた。

2003年に児童扶養手当の所得制限が2段階制からテーパリング制となり全部支給の額が200万円より130万円に下がった。このことの功罪はこれから評価が決まるだろうが、少なくともこうしたデータを見ると、所得制限を下げたことは就労を抑制することになったと考えられる。

② もうひとつの児童扶養手当に関する課題は支給回数の問題である。

2019年11月より、児童扶養手当の支給回数は2月に1回となる。支給が2カ月に1回になることについてどう思うかを聞いたところ「うれしい」と答えた人が65.5%であり、「どちらでもいい」30.9%、「うれしくない」2.9%で、多くが歓迎していた。

その答えを選んだ理由を自由回答してもらった。

回答を筆者が分類すると

- ① 家計の管理がやりやすくなる
- ② 生活がらくになる
- ③ 4か月目の生活が厳しかったから
- ④ 給食費電気ガス通信費などの支払いは毎月だから
- ⑤ 赤字が早く補える
- ⑥ 毎月だとなおいい

などであった。

予想よりも、隔月支給について「うれしい」と明確に答える人が多かった。実際に2019年11月から隔月支給が始まるので意識化してきたこと、また、4カ月の支給の場合家計管理がむずかしく（月々の収入の把握もむずかしい）、結果的に家計管理ができず、4か月目の生活が厳しくなってきた経験があるからだろう。また「赤字が早く補える」ということも分かった。

人は支払いを滞納をすればその滞納分とその期間だけ心理的な負担も負うことになり、4カ月に1度の支給の場合はその心理的負担の期間が長く重かったと推測できる。実際に取り立てなどもあっただろう。隔月支給になればそうした負担も減ることがわかる。

なおそうではあっても、「毎月だとなおいい」という記述も多くあったことを付け加えたい。

まとめ

以上、新入学お祝い金を受給世帯のアンケート調査による受給世帯の状況を結果から見た。

新入学お祝い金の支給は、就労状況が不安定で低収入であり、預貯金がゼロに近いひとり親世帯の子どもの入学の支援としては必要不可欠なものであり、子どもの健全育成とひとり親世帯の安定や孤立防止に大きな成果を上げているといえる。

貸付金や親族支援の手立てがない世帯にとっては入学ができる必須の支援であり、大きな安心と希望をもたらすものであった。希望をもつことで転職活動に成功した保護者もいた。また公的支援からもれる世帯への支援も行うことでより包摂的な支援を行えたことも大きな意味があった。

また、受給世帯には『教育費サポートブック 2018年版』を無料送付し、当団体のメールマガジン登録をお勧めし、そのほか必要な支援を得る契機ともなっていることから、新入学お祝い金事業はこの数年単位では困難度の高いひとり親世帯には必要と思われる。

同時に、こうした新入学お祝い金が必要ではなくなる日が来ることが望まれる。そのためには、新入学関連の費用が低くなること、就学援助の入学準備金が前倒し支給、高校奨学給付金の前倒し支給が強く望まれる。



新入学お祝い金2019 アンケート

このアンケートは、寄付者への報告、次年度の寄付のお願い、政策提言の資料とするためにお願いするものです。集計にあたっては、応募書類にいただいたデータと合わせて集計するため、上の番号を付けています。アンケートの集計結果は統計的に処理して発表しますので、みなさまのお名前が出たり、個人が特定されることは一切ありません。応募書類データとアンケート回答データの集計についてご承諾いただけるか、チェック☑をつけてください。

- 承諾します → 以下のアンケートに回答し、返送してください
- 承諾しません → 回答せず、このまま返送してください

◇ 入学お祝い金を受けられたお子さんは、どの学校に進学しましたか

進学した学校の種類 ※該当するものに○をつけてください	※複数のお子さんが入学お祝い金を受けた場合は、複数の用紙を同封していますので、この用紙で回答するお子さんの名前を記入してください
1 小学校 2 中学校 3 高校・高専 4 大学 5 専門学校 6 その他 ()	

上記のお子さんについて、おうかがいします

◇ 入学にかかった費用と、入学お祝い金の使いみちについて

【問1】入学前後にどのくらいのお金がかかりましたか。下記の項目でかかった金額を教えてください。また、今回の入学お祝い金（小学校・中学校・大学等3万円、高校・高専4万円）は、そのうち、どの費用をまかなうのに役立ったか、○をつけて教えてください。（3つまで○）

項目	金額	役立った項目に○（3つまで）
学校納付金（入学金・授業料）	¥	
学校指定の学用品（教材・文具・実習服等）	¥	
学校用の衣類や靴（制服・体操着・上履き等）	¥	
学校の部活費用（部活道具・保険等）	¥	
通学用かばん・ランドセル	¥	
通学用自転車	¥	
通学交通費（定期代）	¥	
自宅用の学用品（勉強机・文具等）	¥	
式服（入学式のスーツ・靴等）	¥	
入学までの受験費用（受験料・受験交通費等）	¥	
入学のための引っ越し（寮・アパートへの転居費用）	¥	

◇ 自治体の貸付金、社会福祉協議会の貸付金について

【問2-1】今回、お子さんの進学に際し、自治体や社会福祉協議会の貸付金を申請しましたか（母子父子福祉資金、生活福祉資金など）。（一つに○）

- 1 申請した
- 2 申請しなかった

【問2-2】「2 申請しなかった」方にお聞きします。なぜ申請しなかったか、その理由を教えてください。

(あてはまるすべてに○)

- 1 制度を知らなかったから
- 2 申請や相談に行く時間がないから
- 3 審査に時間がかかるから
- 4 保証人がたてられないから
- 5 収入が高すぎて受けられないと思うから
- 6 収入が低すぎて受けられないと思うから
- 7 以前に借りて返済中だから
- 8 貸付金は受けたくないから
- 9 その他 ()

ここからは保護者の方について、おたずねします

◇ 児童扶養手当制度について

【問3-1】児童扶養手当をもらっていますか。(一つに○)

- 1 もらっている 2 もらっていない 3 わからない

「1 もらっている」方にお聞きします。(【問3-2】【問3-3】【問3-4】【問3-5】)

【問3-2】あなたは働くうえで、児童扶養手当がもらえる収入範囲(所得制限限度額)を気にしていますか。(一つに○)

- 1 気にして働いている 2 気にしないで働いている 3 働いていない

【問3-3】2018年8月から児童扶養手当の全部支給が受けられる所得制限限度額が、表のとおり、子ども1人の場合130万円から160万円、子ども2人の場合171万7千円から215万7千円に引き上げられました。

あなたはこのことを知っていますか。(一つに○)

- 1 知っている
2 知らなかった

所得制限限度額表		(収入ベース)	
2017年まで		2018年8月から	
子ども1人	130万円	→	160万円
子ども2人	171万7千円	→	215万7千円
子ども3人	227万1千円	→	270万円

【問3-4】全部支給が受けられる所得制限限度額が上がったことで、あなたは就労収入を増やしたいと思いますか。(一つに○)

- 1 所得制限限度額が上がったので、就労収入を増やしたい
- 2 所得制限限度額が上がったこととは関係なく、就労収入を増やしたい
- 3 就労収入は増やしたくない
- 4 就労できない

【問3-5】2019年11月から児童扶養手当の支給頻度が、4か月に1回の支給から、2か月に1回の支給に変わります。あなたはそのことをどう思いますか。(一つに○)

- 1 うれしい 2 うれしくない 3 どちらでもいい

上記の答えを選んだ理由を教えてください。

理由

◇ 健康について

【問 4-1】あなたは過去 1 年間に、健診等（健康診断、健康診査及び人間ドック）を受けたことがありますか。（一つに〇）

- 1 ある 2 ない

【問 4-2】「2 ない」と答えた方にお聞きします。どのような理由で受けなかったのですか。

（あてはまるものすべてに〇）

- 1 知らなかったから 2 時間がとれなかったから 3 場所が遠いから 4 費用がかかるから
5 検査等（採血、胃カメラ等）に不安があるから 6 その時、医療機関に入通院していたから
7 毎年受ける必要性を感じないから 8 健康状態に自信があり、必要性を感じないから
9 心配な時はいつでも医療機関を受診できるから 10 結果が不安なため、受けたくないから
11 めんどうだから 12 その他（ ）

【問 4-3】あなたの現在の健康状態はいかがですか。（一つに〇）

- 1 よい 2 まあよい 3 ふつう 4 あまりよくない 5 よくない

【問 4-4】「4 あまりよくない」「5 よくない」と答えた方にお聞きします。

具体的な病気や体調不良の原因があれば、教えてください。

◇ 暮らしについて

【問 5-1】あなたは、母子世帯・父子世帯・養育者世帯として暮らし始めてから、生活費をまかなうために、お金を借りたことがありましたか。（あてはまるものすべてに〇）※住宅ローン・自動車ローン・子どもの奨学金は含みません。

- 1 生活費を家族や親族から借りた
2 生活費を友人や知人から借りた
3 生活費を公的機関（自治体・社会福祉協議会など）から借りた
4 生活費を消費者金融から借りた
5 生活費をまかなうためにクレジットカードのキャッシングを利用した
6 1~5 のような経験をしたことはない

【問 5-2】あなたが住居費として負担している金額は、1 か月あたりおいくらですか。 家賃・住宅ローン・共益費・管理費などの合計の金額を教えてください。（一つに〇）

- 1 0 円（費用負担なし） 2 1~9,999 円 3 10,000 円~19,999 円
4 20,000 円~29,999 円 5 30,000 円~39,999 円 6 40,000 円~49,999 円
7 50,000 円~59,999 円 8 60,000 円~69,999 円 9 70,000 円~79,999 円
10 80,000 円~89,999 円 11 90,000 円~99,999 円 12 100,000 円以上

【問 5-3】あなたの現在の預貯金額はどのくらいですか。（一つに〇）

- 1 0 円 2 5 万円未満 3 5 万円以上 10 万円未満 4 10 万円以上 20 万円未満
5 20 万円以上 30 万円未満 6 30 万円以上 50 万円未満 7 50 万円以上 100 万円未満
8 100 万円以上

最後に、あなたが加入している年金と健康保険について教えてください。

年金について (一つに○)	健康保険について (一つに○)
1 厚生年金 (給与から保険料が引かれて納めている)	1 会社を通して加入している (健康保険)
2 国民年金 (自分で保険料を納めている・免除されている)	2 市町村を通して加入している (国民健康保険)
3 加入していない	3 加入していない
4 わからない	4 わからない

◇ 入学お祝い金の感想や その他ご意見・ご要望をお聞かせください 寄付者にもお伝えます

【入学されたお子さんから】

【保護者の方から】

★上記欄 (感想・意見・要望) をホームページ等でご紹介してもよいですか (必ずを記入してください)

掲載してもよい 掲載は不可 ※お名前は掲載しません

～ご協力ありがとうございました～

《2019年4月入学者対象》
新入学お祝い金事業および入学後受給者調査報告書

認定特定非営利活動法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ

〒102-0072

東京都千代田区飯田橋 1 - 8 - 9 ニューシティハイツ飯田橋 402

TEL : 03 - 3263 - 1519 FAX : 03 - 3239 - 6590

Email : info@single-mama.com

<https://www.single-mama.com>